# 当初設計書

| 設計 | | 精算 | |
|---|---|---|---|

起工番号　：　企下整第19号　　工期　　：　120日間

会計年度　：　令和　8　年度　　単価世代：　令和08年10月01日 公共

事業名　　：　公共下水道事業　　諸経費率：　公共 令和08年10月01日

修繕名　　：　合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外)

設計部課名：　上下水道部下水道整備課

修繕場所　：　久留米市　合川町外　地内

## 設計の概要

（当初設計）

筒川雨水幹線
ひび割れ補修工（低圧注入工法）　L=91m
ひび割れ補修工（充てん工法）　L=39m
断面修復工（左官工法）　V=0.142m3

大石町雨水幹線
ひび割れ補修工（充てん工法）　L=59m
断面修復工（左官工法）　V=0.155m3

# 本　工　事　費　内　訳　書

| 費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 明細単価番号 | 基　準 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 本工事費(筒川) | 1 | 式 | | | | |
| 筒川雨水幹線 | 1 | 式 | | | | |
| ひびわれ補修工 | 1 | 式 | | | | |
| ひび割れ補修工(低圧注入工法)<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂3種91m | 1 | 構造物 | | | 単　1 号 | |
| ひび割れ補修工（充てん工法）<br>シーラント系39m | 1 | 構造物 | | | 単　2 号 | |
| 断面修復工 | 1 | 式 | | | | |
| 断面修復工（左官工法）<br>鉄筋ｹﾚﾝ防錆有0.080m3鉄筋ｹﾚﾝ防錆無0.062m3 | 1 | 構造物 | | | 単　3 号 | |
| コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)<br>運搬距離5.9km<br>DID区間有り | 0.1 | m3 | | | 施　1 号 | |
| 産業廃棄物中間処理料ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)<br>(積算単価)久留米県土管内 | 0.2 | m3 | | | | |
| 交通誘導員 | 1 | 式 | | | | |
| 交通誘導警備員Ｂ | 3 | 人日 | | | 施　2 号 | |
| 直接工事費計 | | | | | | |

# 本　工　事　費　内　訳　書

| 費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 明細単価番号 | 基　準 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通仮設費計 | 1 | 式 | | | | |
| 共通仮設費(率化) | 1 | 式 | | | | |
| 共通仮設費率分 | 1 | 式 | | | | |
| 純工事費 | 1 | 式 | | | | |
| 現場管理費 | 1 | 式 | | | | |
| 工事原価 | 1 | 式 | | | | |
| 一般管理費等 | 1 | 式 | | | | |
| 工事価格 | 1 | 式 | | | | |
| 消費税等相当額 | 1 | 式 | | | | |
| 合計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

# 本　工　事　費　内　訳　書

| 費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 明細単価番号 | 基　準 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 本工事費(大石町) | 1 | 式 | | | | |
| 大石町雨水幹線（１） | 1 | 式 | | | | |
| ひびわれ補修工 | 1 | 式 | | | | |
| ひび割れ補修工（充てん工法）<br>シーラント系41m | 1 | 構造物 | | | 単　4 号 | |
| 断面修復工 | 1 | 式 | | | | |
| 断面修復工（左官工法）<br>鉄筋ｹﾚﾝ防錆無0.039m3 | 1 | 構造物 | | | 単　5 号 | |
| コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)<br>運搬距離9.9km<br>DID区間有り | 0.1 | m3 | | | 施　3 号 | |
| 交通誘導員 | 1 | 式 | | | | |
| 交通誘導警備員Ｂ | 6 | 人日 | | | 施　2 号 | |
| 大石町雨水幹線（２） | 1 | 式 | | | | |
| ひびわれ補修工 | 1 | 式 | | | | |
| ひび割れ補修工（充てん工法）<br>シーラント系17m | 1 | 構造物 | | | 単　6 号 | |

# 本　工　事　費　内　訳　書

| 費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 明細単価番号 | 基　準 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 断面修復工 | 1 | 式 | | | | |
| 断面修復工（左官工法）<br>鉄筋ｹﾚﾝ防錆無0.007m3 | 1 | 構造物 | | | 単　7 号 | |
| 大石町雨水幹線（３） | 1 | 式 | | | | |
| ひびわれ補修工 | 1 | 式 | | | | |
| ひび割れ補修工（充てん工法）<br>シーラント系1m | 1 | 構造物 | | | 単　8 号 | |
| 断面修復工 | 1 | 式 | | | | |
| 断面修復工（左官工法）<br>鉄筋ｹﾚﾝ防錆無0.024m3 | 1 | 構造物 | | | 単　9 号 | |
| 大石町雨水幹線（４） | 1 | 式 | | | | |
| 断面修復工 | 1 | 式 | | | | |
| 断面修復工（左官工法）<br>鉄筋ｹﾚﾝ防錆無0.045m3 | 1 | 構造物 | | | 単　10 号 | |
| 大石町雨水幹線（５） | 1 | 式 | | | | |
| 断面修復工 | 1 | 式 | | | | |

# 本　工　事　費　内　訳　書

| 費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 明細単価番号 | 基　準 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 断面修復工（左官工法）<br>鉄筋ｹﾚﾝ防錆無0.020m3 | 1 | 構造物 | | | 単 11 号 | |
| 大石町雨水幹線（６） | 1 | 式 | | | | |
| 断面修復工 | 1 | 式 | | | | |
| 断面修復工（左官工法）<br>鉄筋ｹﾚﾝ防錆無0.020m3 | 1 | 構造物 | | | 単 12 号 | |
| 直接工事費計 | | | | | | |
| 共通仮設費計 | 1 | 式 | | | | |
| 共通仮設費(率化) | 1 | 式 | | | | |
| 共通仮設費率分 | 1 | 式 | | | | |
| 純工事費 | 1 | 式 | | | | |
| 現場管理費 | 1 | 式 | | | | |
| 工事原価 | 1 | 式 | | | | |
| 一般管理費等 | 1 | 式 | | | | |

# 本　工　事　費　内　訳　書

| 費　目　・　工　種　・　種　別　・　細　目 | 数　量 | 単位 | 単　価 | 金　額 | 明細単価番号 | 基　準 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事価格 | 1 | 式 | | | | |
| 消費税等相当額 | 1 | 式 | | | | |
| 合計 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

久留米市

# 合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外)
# 特記仕様書

令和8年度

久留米市企業局

上下水道部 下水道整備課

作成：令和8年10月

# 特記仕様書

| | |
|---|---|
| 1. 適用 | （1）本特記仕様書は、■印をつけたものを適用する。 |
| | （2）本特記及び図面に記載のないものは、下記の図書による。<br>■ 土木工事共通仕様書（福岡県県土整備部）<br>■ 土木工事施工管理の手引き（福岡県県土整備部）<br>■ 舗装設計施工指針（(社)日本道路協会）<br>■ 道路橋示方書・同解説（(社)日本道路協会）<br>□ 下水道土木工事共通仕様書（案）（国土交通省　都市・地域整備局下水道部）<br>□ 久留米市公共下水道標準仕様書<br>□ 下水道工事施工管理マニュアル<br>■ 道路土工指針<br>■ コンクリート標準示方書<br>□<br>□<br>□ |
| 2. 共通事項 | |
| ①他工事との調整 | □ 近接の工事とは、常に十分な調整を図らねばならない。<br>下記の発注工事と調整を図ること。<br>□ 久留米市発注の工事　（　　）<br>□ 久留米市企業局発注の工事　（　　）<br>□ その他官公庁関係の工事（発注者）　（　　）<br>□ 九州電力発注の工事<br>□ NTT発注の工事<br>□ その他通信事業者の工事（企業名）　（　　）<br>□ その他の工事（発注者）　（　　） |
| ②事前調査 | ■ 着工に先立ち、現地の状況、関連工事等について綿密な事前調査を行い、十分把握のうえ施工しなければならない。<br>下記の調査を行い、その結果を監督職員に報告すること。<br>■ 着工前測量　（施工図の提出　　）<br>■ 上空調査　（上空架空線の確認　　）<br>■ 地下調査　（既設埋設管路の位置確認　　）<br>□ 影響調査　（近接する建物の着手前の確認　　）<br>□ その他　（　　） |
| ③本工事の制限 | □ 本工事の施工にあたり、施工内容・施工時期・施工時間等について、下記の制限があるので、遵守すること。<br>□ 施工内容　（　　）<br>□ 施工時期　（　　）<br>■ 施工時間　（9:00～17:00　　）<br>□ その他　（　　）<br>□ 無<br>※ やむを得ず、作業時間の変更を必要とする場合は、事前に監督職員と協議すること。 |

| | |
|---|---|
| ④週休2日に関する事項 | ■ 週休2日の試行対象工事<br>（1）試行内容については、「久留米市週休2日工事試行要領（土木）」によること。ただし、間接工事費等の補正については、当初設計時より「月単位」の4週8休補正率で計上している。<br>（2）受注者が活用を希望する場合は、上記の実施要領を参照し発注者と協議すること。 |
| ⑤遠隔臨場検査に関する事項 | 遠隔臨場の試行対象工事<br>（1）試行内容については、「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領」によること。<br>（2）受注者が活用を希望する場合は、上記の実施要領を参照し発注者と協議すること。 |
| ⑥情報共有システムに関する事項 | 情報共有システムの試行対象工事<br>（1）試行内容については、「久留米市情報共有システム試行要領」によること。<br>（2）受注者が活用を希望する場合は、上記の実施要領を参照し発注者と協議すること。 |
| ⑦ワンデーレスポンスについて | ワンデーレスポンスの実施<br>本工事は、ワンデーレスポンスの対象であるため、「ワンデーレスポンス実施要領（久留米市）」に基づき、受発注者の協力のもと取り組むものとする。 |
| ⑧ウィークリースタンスについて | ウィークリースタンスの試行対象工事<br>本工事は、ウィークリースタンスの対象であるため、「ウィークリースタンス実施要領(久留米市)」に基づき、受発注者の協力のもと取り組むものとする。 |
| ⑨産業廃棄物の運搬・処分 | （1） 産業廃棄物の運搬車等に係る標示の義務付け有り。<br>（2） 産業廃棄物の運搬車等に係る書面備え付けの義務付け有り。<br>（3） 運搬処理について、下記項目の写真を品目毎に提出しなければならない。なお、状況写真では車両ナンバーが確認できるように撮影すること。<br>①施工状況、積込み等の搬出状況写真<br>（4） 受注者は、舗装版切断時に発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として処理しなければならない。<br>（5） 受注者は、他の産業廃棄物と同様に当該濁水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）の原本を監督職員に提示しなければならない。<br>（6） 当該濁水の処理に関し、濁水量に変更が生じた場合、受注者は濁水量を取りまとめのうえ、監督職員と協議を行い契約変更の対象とする。<br>（7） 受注者は、当該濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、当該濁水と同様に吸引する装置の併用など、粉塵の飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については適正な運搬・処理を実施することとし、マニフェストの原本を監督職員に提示しなければならない。<br>■ 資源の有効な利用の促進に関する法律の規定により<br>「再生資源利用計画（実施）書」及び「再生資源利用促進計画（実施）書」は、「コブリス・プラス」による工事情報の登録を行い作成するものとする。また、作成後は「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」、「再生資源利用計画（実施）書」、「再生資源利用促進計画（実施）書」を監督職員に提出し、その内容を説明しなければならない。<br>なお、工事完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 |
| ⑩事後調査 | □ 竣工にあたり、事前調査の状況報告、復元等について報告すること。<br>下記の事後調査については、その結果を監督職員に報告すること。<br>□ 竣工時測量 （官民境界復元 ）<br>□ 上空復元報告 （ ）<br>□ 地下調査報告 （ ）<br>□ 影響調査報告 （近接する建物の竣工後の確認 ）<br>□ その他 （ ） |

## 3. 土工

### ①残土(建設発生土)処分

□ 改良土プラント施設処分地の指定(下記)

| 処分地の名称 | 所在地 |
|---|---|
| | |
| | |

設計の搬出先を上記に示す。
ただし、指定先を変更する場合は、福岡県の承認施設より選定すること。
なお、選定にあたっては、久留米市内にプラント施設がある施設の中から選定するよう努めなければならない。
COBRIS対象工事は、工事着手前までに「建設発生土処分地計画書」、工事完成後に「建設発生土処分地確認書」を監督職員へ速やかに提出すること。
なお、コブリス・プラス対象工事は「土砂受領書」もあわせて提出すること。

□ その他処分地の指定(下記)

| 処分地の所在地 | 受入側の工事名又は事業名 |
|---|---|
| | |
| | |

設計の搬出先を上記に示す。
処分方法等については、監督職員の指示による。
コブリス・プラス対象工事は、工事着手前までに「建設発生土処分地計画書」、工事完成後に「建設発生土処分地確認書」を監督職員へ速やかに提出すること。
なお、コブリス・プラス対象工事は「土砂受領書」もあわせて提出すること。
建設発生土を民間地に搬出する場合、盛土規制法の許可を受けるなど搬出先が適正であることを確認すること。

### ②埋戻し

□ 材料指定有り

□ 再生利用土　　(　　)

□ 購入土(下記)

□ その他(下記)

| 材料名 | 条件 |
|---|---|
| 改良土 | 福岡県県土整備部承認施設の改良土及び福岡県認定リサイクル製品の改良土 |
| | |

□ 材料指定無し

## 4. ｺﾝｸﾘｰﾄ工

### ①生ｺﾝｸﾘｰﾄ仕様

□ 下記仕様による

| 種別 | σck | 最大粗骨材寸法 | スランプ |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

□ 一般仕様書による

### ②ｾﾒﾝﾄの指定

□ 下記仕様による

□ 高炉ｾﾒﾝﾄB種

□ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ

□ その他(　　)

□ 一般仕様書による

### ③水:ｾﾒﾝﾄ比

□ 水:ｾﾒﾝﾄ比に指定有り(鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄについては55%以下、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄは60%以下とする。)

■ 水:ｾﾒﾝﾄ比は標準とする

5. 基礎工

①杭基礎

□ 本工事において杭基礎有り

□ 杭の許容支持力は下記による

| 施設名 | 支持力 |
|---|---|
| | KN/本 |
| | KN/本 |

□ 試験杭の指定

| 施設名 | 本数 | 杭長 | 備考 |
|---|---|---|---|
| | 監督職員の指示による | － m | 1. 本杭に使用し、余長分は切断 |
| | | | 2. 位置は監督職員と協議 |
| | | | 3. 杭長以外の仕様は本杭と同じ |

試験杭の結果、杭長に変更が生じた場合は、監督職員と協議する。

□ 施工方法

□ ﾌﾟﾚﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ拡大根固め工法[建設大臣認定]

□ その他(　　)

□ 載荷試験

□ 要(　　本)

□ 不要

□ 杭の材質、形状、寸法等は設計図書による

■ 本工事において杭基礎無し

②直接基礎

□ 本工事において直接基礎有り

□ 載荷試験　要

試験法(　　)

□ 載荷試験　不要

■ 本工事において直接基礎無し

<table>
<tr><td>6. 仮設工</td><td>□ 指定仮設工法有り<br>□ 任意仮設工法有り<br>■ 本工事において仮設工無し</td></tr>
<tr><td>①土留工</td><td>□ 本工事において土留工法有り<br>□ 一般仕様による<br>□ 指定工法<br><table><tr><th>仮設材</th><th>工法</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②仮設物の存置</td><td>□ 本工事において仮設物の存置有り<br>□ 本工事で施工する下記仮設物については、工事完成後も存置すること。<br><table><tr><td>仮設物の内容</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table><br>□ 本工事で使用する下記仮設物については、既に設置済みである。<br><table><tr><td>仮設物の内容</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③水替工</td><td>□ 本工事において水替工有り<br>□ 釜場排水<br>□ ウェルポイント（設計図書による）<br>□ ディープウェル（設計図書による）<br>□ その他　　（　　）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>7. その他</td><td></td></tr>
<tr><td>①付帯工</td><td>□ 付帯工にあたり下記指定事項有り
<table>
<tr><th>工種</th><th>指定事項</th></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>②材料規格指定<br>について</td><td>■ JIS規格<br>□ 材料規格に下記指定事項有り
<table>
<tr><th>品名</th><th>備考</th></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
</table>
□ 指定事項無し</td></tr>
<tr><td>③本工事の注意<br>事項</td><td>□ 本工事は〇〇小学校の正門から半径500m以内の指定通学路を施工するため、十分な安全対策を講じること。<br>□ 本工事は来客者用駐車場を保有する店舗の沿線を施工するため、出入口の確保を講じること。<br>□ 本工事は土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域を施工するため、緊急車両の通行や迂回路の確保を講じること。<br>□ 本工事は夜間工事のため周辺家屋等への環境対策を講じること。<br>□ 施設管理者（道路）等による本工事の注意事項<br>（　　）<br>□ 本工事は概算数量設計のため別紙仕様書有り<br>□ 〇〇〇の資材単価については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴い特別調査が困難であったため、発注時は見積りにより〇〇〇〇〇〇円（税抜き）と設定している。本資材単価については、契約後の特別調査の結果次第では設計変更の対象となる。<br>（1）本工事は、設計変更手続きの透明性と公正性の向上および迅速化を目的として、設計変更および工事中止等の協議を行うため、受注者は、「設計変更協議会」の開催を求めることができる。<br>ただし、上記「協議会」開催の申し出については、工期末の30日前（工期が60日以下の工事については20日前）までに行なうものとする。<br>（2）その他、本工事に際し、疑義が生じた場合は、すみやかに監督職員と協議すること。<br>（3）現場代理人、主任技術者は、腕章を着用すること。<br>（4）受注者は、本工事に起因する土砂等の散乱により道路を汚した場合は、すみやかに路面の清掃を行うこと。ただし、通行障害や低温時の散水による路面凍結事故等が発生しないよう、天候等を慎重に判断した上で、公衆の安全性が確保された方法による対策を講じること。<br>（5）代価表については、原則的に添付しない。</td></tr>
</table>

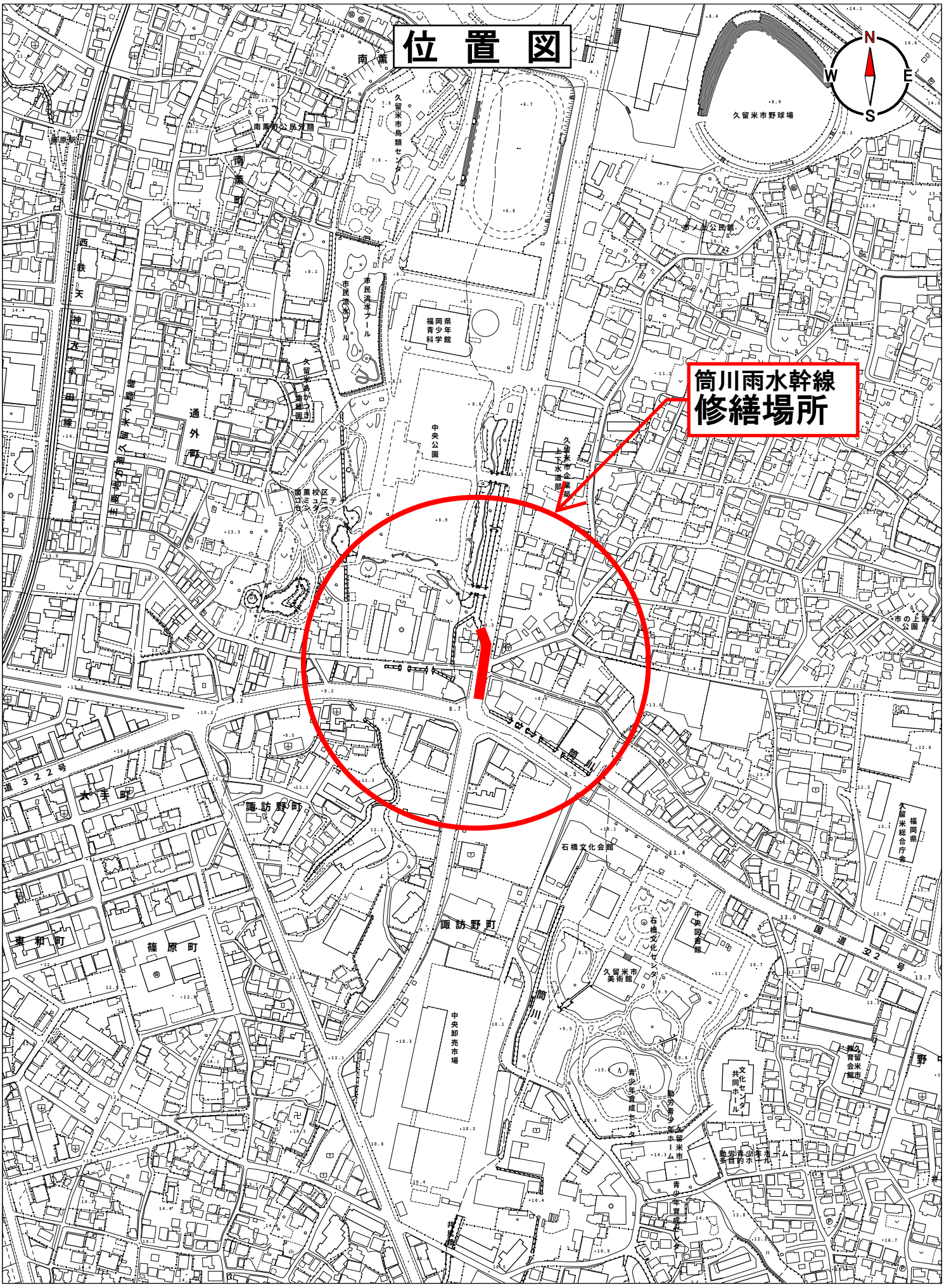
<table>
<tr><td>④交通誘導員</td><td>■ 交通誘導員有り<br>□ 指定路線での工事<br>（第1条） 本工事は交通頻繁な道路における現場であるため、原則として交通誘導員は交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）を配置することとする。ただし、交通誘導警備検定合格者を配置できない場合、監督職員が警備員名簿及び教育実施状況等に関する資料により、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員と認めた者については、この限りではない。なお、「警備員等の検定等に関する規則」第2条において、配置を義務づけられた警備員には上記ただし書きは適用できない。
<table>
<tr><th>資　　格</th><th>資 格 要 件</th></tr>
<tr><td>1・2級交通誘導警備検定合格者</td><td>交通誘導警備に関して、公安委員会が学科及び実技試験を行って専門的な知識・技能を有すると認めた者</td></tr>
<tr><td>交通誘導に関し専門的な知識及び技術を有する警備員等</td><td>・警備業法における指定講習を受講した者<br>・警備業法における基本的教育及び業務別教育（警備業法第二条第一項第二号の警備業務）を現に受けている者で、交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験年数）が1年以上である者</td></tr>
</table>
（第2条） 本工事における交通誘導員は、規制箇所毎に交通誘導員Aを1名、それ以外を全て交通誘導員Bで計上しているが、交通管理者との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。なお交通誘導員Aとは、「警備員等の検定等に関する規則第1条第4号」に規定する1級又は2級検定合格警備員をいい、交通誘導員Bとは、交通誘導員A以外の1級又は2級検定合格警備員、及び監督職員が警備員名簿及び教育実施状況等に関する資料により、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員と認めた者をいう。<br><br>■ 指定路線外での工事<br>（第1条） 本工事は交通頻繁な道路における現場であるため、原則として交通誘導員は交通誘導警備検定合格者（1級又は2級）を配置することとする。ただし、交通誘導警備検定合格者を配置できない場合、監督職員が警備員名簿及び教育実施状況等に関する資料により、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員と認めた者については、この限りではない。<br><br>配置箇所<br>□ 施工区間の前後<br>□ 交差点部<br>■ その他<br>（材料搬入搬出時に路肩に車両を停車する必要がある場合　　）<br>□ 交通誘導員無し<br>交通誘導員については、原則設計計上しない。</td></tr>
<tr><td>8. 共通仮設費</td><td></td></tr>
<tr><td>1）運搬費</td><td>□ 指定事項有り<br><br>■ 指定事項無し</td></tr>
<tr><td>2）準備費</td><td>□ 指定事項有り<br><br>■ 指定事項無し</td></tr>
<tr><td>3）事業損失防止施設費</td><td>□ 指定事項有り<br><br>■ 指定事項無し</td></tr>
<tr><td>4）安全費<br>工事標識、<br>保安施設標識</td><td>工事標識、保安施設標識の設置箇所等については、監督職員と綿密に協議すること。</td></tr>
</table>

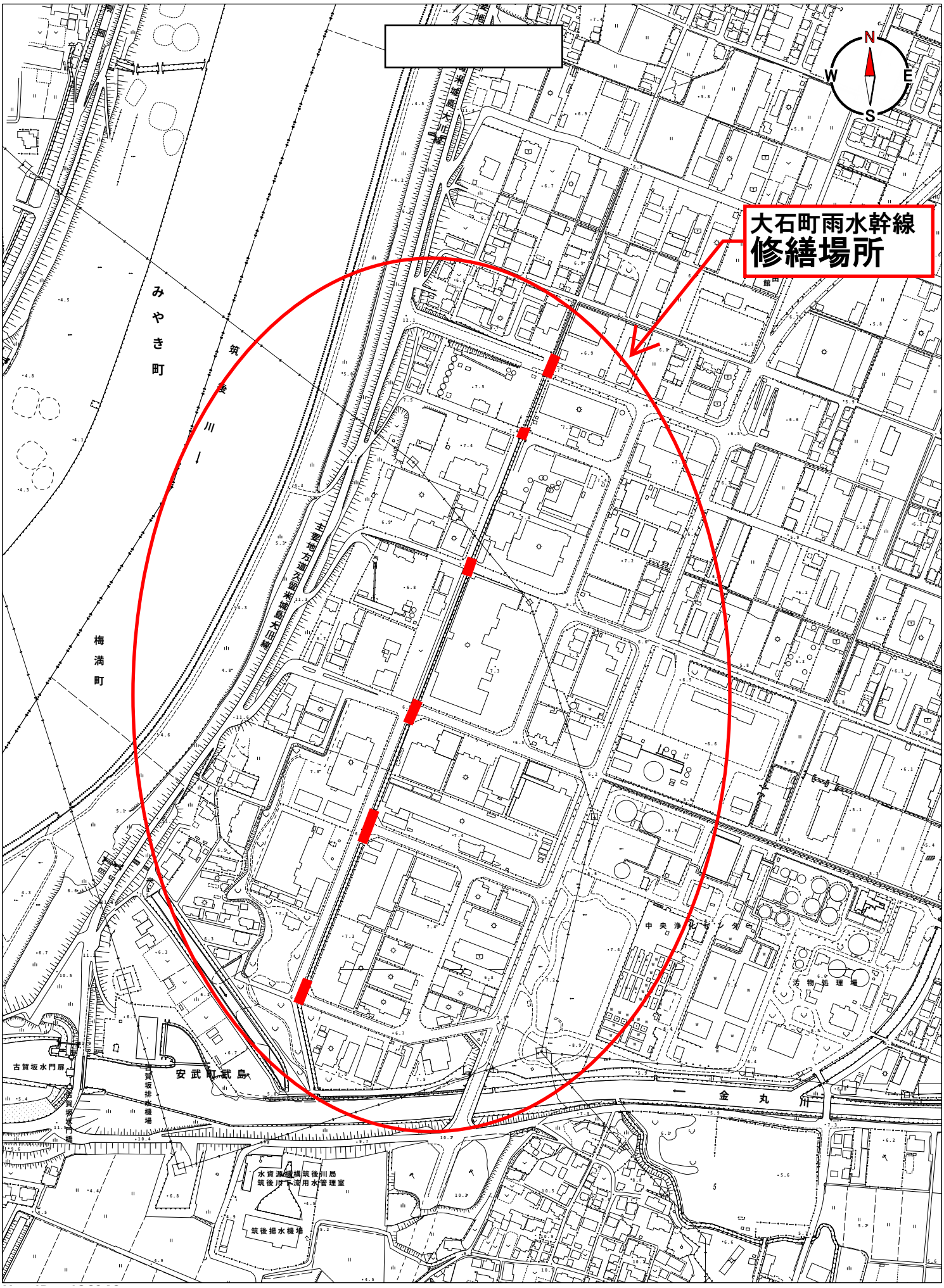
<table>
<tr><td>5)役務費</td><td>□ 指定事項有り<br>□ 借地<br>（　　）<br>□ 電力<br>□ 用水<br>□ その他<br>■ 指定事項無し</td></tr>
<tr><td>6)技術管理費</td><td>□ 指定事項有り<br><br>■ 指定事項無し</td></tr>
<tr><td>7)営繕費</td><td>□ 指定事項有り<br><br>■ 指定事項無し</td></tr>
<tr><td>8)現場環境改善費</td><td>□ 指定事項有り<br><br>■ 指定事項無し</td></tr>
<tr><td>9. 現場管理費</td><td></td></tr>
<tr><td>支給品等</td><td>□ 本工事において支給品等有り<br>□ 支給品等有り<br><table><tr><th>品名</th><th>場所</th><th>延長</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table><br>■ 支給品等無し</td></tr>
<tr><td>10. 検査</td><td></td></tr>
<tr><td>①中間検査</td><td>□ 下記事項については、検査を要するため、監督職員と協議すること。<br>□ 部分使用検査　（　　）<br>□ 随時検査　（　　）<br>□ 材料検査　（　　）<br>□ その他　（　　）</td></tr>
<tr><td>②社内検査</td><td>工事の適正な品質を確保するため、自主的な社内検査を実施。<br>なお、社内検査報告書の提出は必要ありません。</td></tr>
<tr><td>11. 提出書類等</td><td></td></tr>
<tr><td>①施工計画書の提出について</td><td>（1）施工計画書の提出（当初請負額5,000万円以上の場合）<br>（2）施工計画書(簡易版)の提出（当初請負額5,000万円未満の場合）<br>ただし、「施工管理計画」「安全管理」「再生資源の利用の促進と建設副産物の適正管理方法」について記載した書類を提出すること。<br>また、道路使用許可を要する場合、道路使用許可を受けた時点で速やかに「交通安全管理計画書」を提出すること。<br>なお、下記事項については、監督職員と協議し提出すること。<br><table><tr><th>記載事項</th><th>内容</th></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| ②工事の一部を下請に出す場合 | ①施工体制について<br>受注者は、下請工事がある場合、下請契約後10日以内に監督職員へ提出するものとする。施工体制に関する次の書類を監督職員に提出するものとする。<br>また、提出書類の内容に変更が生じた場合は、変更が生じた日から10日以内に提出するものとする。ただし、提出期限は年末年始(6日間)を含めない。<br>なお、施工体制台帳、施工体系図および誓約書（下請負人用）の写しの提出に際して、その内容のヒアリングを監督職員から求められたときは、受注者はこれに応じなければならない。<br>また、受注者は施工体制台帳および施工体系図の写しを「工事関係者が見やすい場所および公衆が見やすい場所」に掲示しなければならない。<br><br>（1） すべての工事 ・・・ 施工体制台帳・施工体系図・誓約書（下請負人用）<br>※工事外注計画書・下請契約報告書の提出は不要 |
| | ②下請人の市内優先活用<br>受注者は、下請契約の相手方を市内中小企業から選定するように努めなければならない。<br>また、下請契約の相手方を市外業者（市内に本店を有する業者以外の業者）とする場合は、施工体制台帳の提出と併せて「選定理由書」を監督職員に提出すること。 |
| ③安全訓練等の実施について | 安全訓練等の活動計画書については現場着手前に、活動報告書については工事安全対策自己点検チェックリストを実施後7日以内に工事打合せ簿にて監督職員に提出しなければならない。ただし、提出期限は年末年始(6日間)を含めない。 |
| 12．追記事項 | |
| ①工事各種保険 | 第三者保険の加入<br>（1） 受注者は、第三者等の安全確保をすべてに優先するために、工事の施工に伴い第三者に与えた損害を補填する保険に加入すること。<br>法定外の労災保険の付保<br>（2） 受注者は工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するため、法定外の労災保険に付さなければならない。<br>なお、受注者は上記保険の証券等（契約内容が分かるもの）の写しを監督職員に提出すること。 |
| ②公共事業各種調査等に対する協力 | （1） 公共事業各種調査の協力について<br>本工事が公共事業各種調査等の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入して提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。<br><br>（2） 公共事業各種調査に伴う日常管理について<br>本工事が公共事業各種調査等の対象工事となった場合に、正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って日頃より管理しなければならない。<br><br>（3） 公共事業各種調査に伴う下請け契約業者について<br>本工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者（当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が前（2）項と同様の義務を負う旨を定めなければならない。 |
| ③下請負人等の選定 | （1） 下請負人を選定するに当たっては、久留米市内に本店を有するものの中から選定するよう努めなければならない。<br>（2） 工事材料に係る納入業者を選定するに当たっては、久留米市内に本店を有するものの中から選定するよう努めなければならない。 |

<table>
<tr><td>④暴力団排除に関する事項</td><td>受注者は、当該工事の施工に当たって次に掲げる事項を遵守しなければならない。<br>（1）暴力団から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。<br>（2）暴力団等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、その旨を速やかに監督職員に報告するとともに、所轄の警察署に被害届けを提出すること。<br>（3）排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督職員と工程に関する協議を行うこと。</td></tr>
<tr><td>⑤暴力団排除に係る下請契約に関する事項</td><td>受注者は、当該工事の下請施工に関して、次に掲げる事項を遵守しなければならない。<br>（1）下請契約（二次以降の下請契約を含む）の相手として暴力団等と関係のある業者を選定してはならない。なお違反した場合は、指名停止措置および下請契約の解除を求める場合もあること。<br>（2）下請契約を締結するときは、受注者は、下請負人から「誓約書（下請負人用）」を提出させ、その写しを監督職員へ提出すること。</td></tr>
<tr><td>⑥暴力団等排除連携会議に関する事項</td><td>予定価格1.5億円以上の工事及びその附帯工事並びに市長が必要と認めた工事（工場製作工程が主たる工程となる工事を除く）の受注者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。<br>（1）受注者は、暴力団等排除連携会議（以下「連携会議」という。）に加入しなければならない。<br>（2）受注者は、当該工事の下請人を連携会議に加入させなければならない。<br>（3）受注者及び下請人は、連携会議に関して、下記の区分に基づき、会議、研修等への出席、警察による工事現場への指導など、暴力団等排除に関する取り組みについて、協力しなければならない。<br><table><tr><th>予定価格による設置基準</th><th>会議形態</th></tr><tr><td>5億円以上の工事及び当該工事に係る附帯工事</td><td>総　会</td></tr><tr><td>1億5千万円以上の工事及び当該工事に係る附帯工事</td><td>研修会</td></tr></table>総　会：元請及び下請け事業所の代表者と、警察署暴力団対策担当課長・施工部局の長が一堂に会する会議<br>研修会：元請及び下請け事業所の現場責任者が一堂に会する工程会議等に、警察と市が出向いて研修を行う会議</td></tr>
<tr><td>⑦創意工夫や地域社会への貢献について</td><td>受注者は、自ら立案実施した創意工夫や地域社会への貢献として、特に評価できる項目について、工事完成日までに所定の様式により、監督職員に提出することができる。</td></tr>
</table>

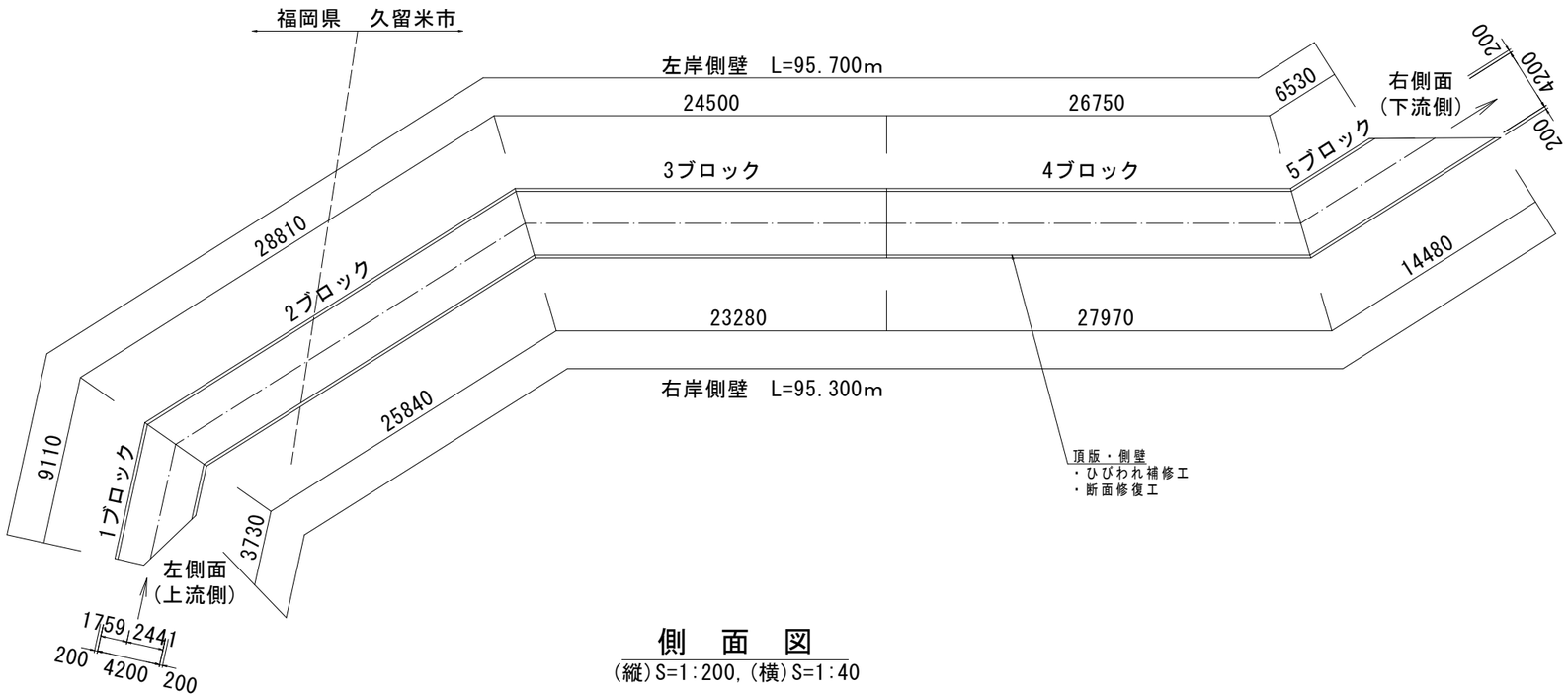
| | |
|---|---|
| ⑧熱中症対策に関する事項 | （1）受注者は、現場管理費の補正を希望する場合は、施工計画書に本試行工事の工事期間中における真夏日の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。<br><br>（2）真夏日とは日最高気温が30℃以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。<br>なお、WBGT を用いて真夏日を計測する場合は、WBGT が25℃以上となる日数を真夏日とみなす。<br><br>（3）工期とは、工事着手日から工事完成日までの日数をいう。ただし、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。<br><br>（4）対象期間内の真夏日率の算出の考え方は、次のとおりとする。<br>真夏日率＝ 工期期間中の真夏日÷ 工期<br><br>（5）受注者より提出される計測結果資料により真夏日率を確認後、現場管理費率を補正し、請負契約書第24条の規定に基づき請負代金額を変更する。 |
| ⑨工事カルテの作成登録 | 受注者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、コリンズに基づき、受注・変更・完成・訂正時に建設実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し原則として、システムからのメールに添付して提出すること。監督職員の確認後、登録時に、監督職員から「工事実績データに登録の承諾」、「工事名」、「確認年月日」を記載したメールを受領すること。<br>また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督職員に提出しなければならない。<br>ただし、登録機関発行の「登録内容確認書」は、コリンズ発行時にシステムから監督職員にメール送信される場合、監督職員への提示や提出は不要とする。<br><br>〇受注時：契約後、土・日曜日、祝日などを除き10日以内<br>〇変更時：変更があった日から、土・日曜日、祝日などを除き10日以内<br>〇完成時：工事完成後(※)土・日曜日、祝日などを除き10日以内<br>(※)検査職員が合格と認めた日<br>〇訂正時：適宜<br>※）変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録を省略できる。 |
| ⑩前払い | □ 本工事の契約は、2ヵ年度にわたるものであるが、契約年度に次年度の工事完成の時期を保証期間として、前払金を一括して支払うものとする。 |
| ⑪部分払い | □ 令和　年度末に出来形検査を受け、同年度内に部分払いの請求を行うこと。 |


位置図
筒川雨水幹線
修繕場所
N
W
E
S
南薫
南薫町
通外町
諏訪野町
大手町
東和町
篠原町
石橋文化会館
久留米市美術館
中央図書館
中央卸売市場
筒川
国道322号
久留米市野球場
中央公園
久留米市企業局上下水道部
福岡県久留米総合庁舎
久留米市青少年ホーム
文化センター共同ホール
久留米市青少年育成センター
久留米市鳥類センター
市民プール
南薫町公民館
西鉄天神大牟田線


大石町雨水幹線
修繕場所
N
W
E
S
みやき町
梅満町
筑後川
古賀坂水門扉
古賀坂排水機場
安武町武島
水資源機構筑後川局
筑後川下流用水管理室
筑後揚水機場
中央浄化センター
汚物処理場
金丸川

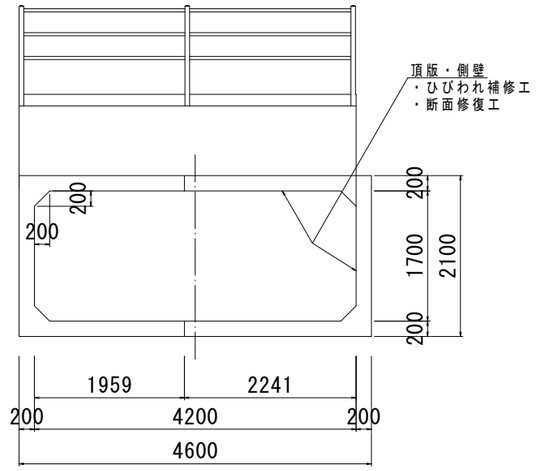
# 筒川雨水幹線　補修一般図

## 平　面　図 S=1:200

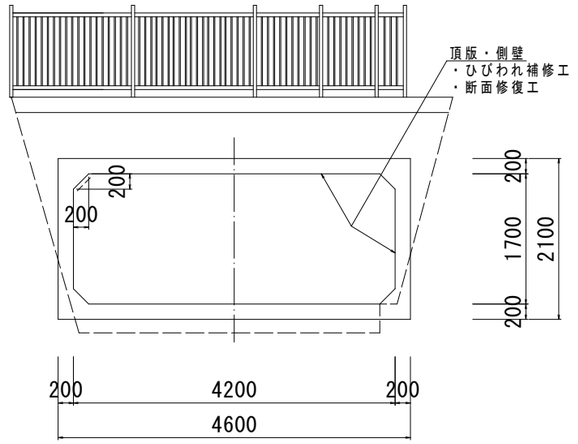



## 側　面　図 S=1:40

### 左側面図(上流側)

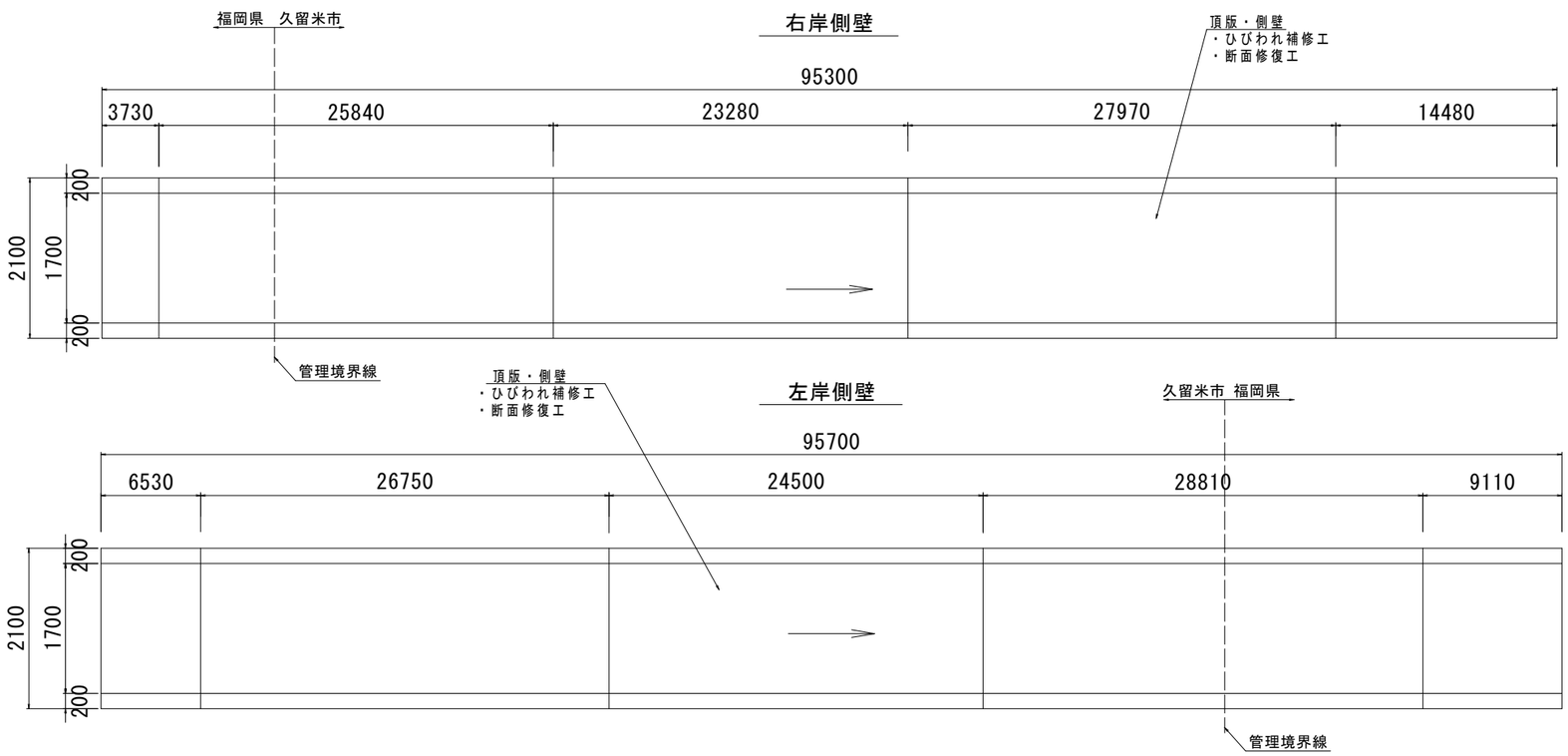



### 右側面図(下流側)




## 側　面　図

(縦)S=1:200, (横)S=1:40




### 補修内容

| 部　位 | 補修内容 | | 備考 |
|---|---|---|---|
| ボックスカルバート<br>(頂版・側壁) | ひびわれ補修工 | 注入：エポキシ樹脂3種 | |
| | | 充填：シーラント系 | |
| | 断面修復工 | ポリマーセメントモルタル | |
| | | | |
| | | | |

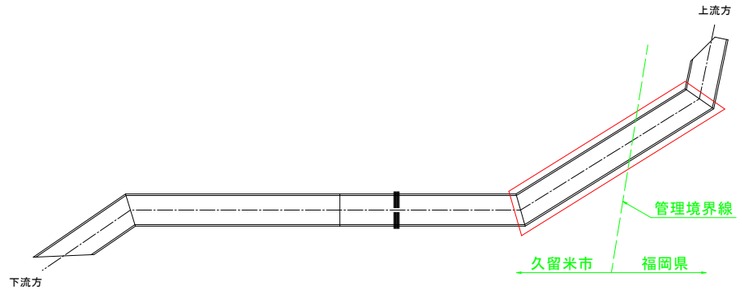
注)
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行うこと。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事年度 | 令和　8年度 | | |
| 事業名 | **久留米市公共下水道事業** | | |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外) | | |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 | | |
| 図面名称 | 筒川雨水幹線　補修一般図 | | |
| 図面番号 | 1/17 | 縮尺 | 図示 |
| 久留米市企業局　下水道整備課 | | | |

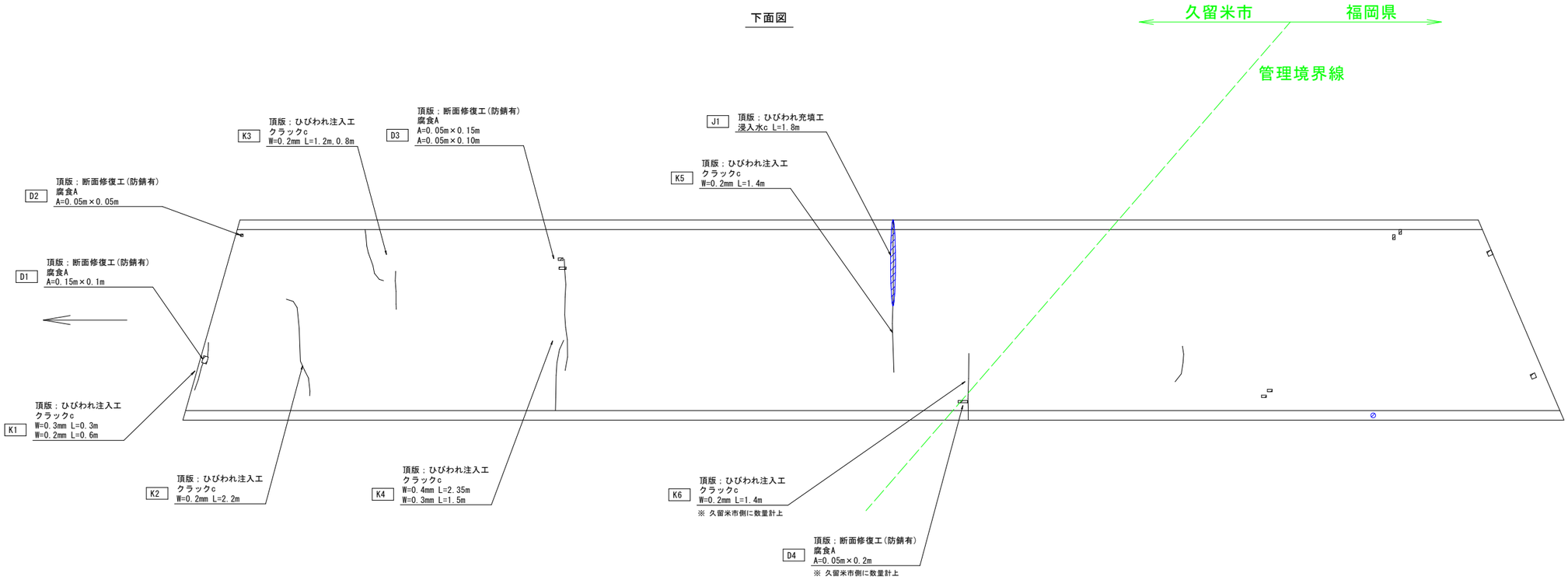
# 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（１）

## 頂版補修図（１） S=1:50

２ブロック




下面図




## ひびわれ注入工

＜頂版__2ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| K1 | 0.300 | 1 | 0.300 | 0.300 |
| | 0.200 | 1 | 0.600 | 0.600 |
| K2 | 0.200 | 1 | 2.200 | 2.200 |
| K3 | 0.200 | 1 | 1.200 | 1.200 |
| | 0.200 | 1 | 0.800 | 0.800 |
| K4 | 0.400 | 1 | 2.350 | 2.350 |
| | 0.300 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| K5 | 0.200 | 1 | 1.400 | 1.400 |
| K6 | 0.200 | 1 | 1.400 | 1.400 |
| 集計表 | | | | |
| ひびわれ幅0.20 mm 合計 | | | | 7.600 |
| ひびわれ幅0.30 mm 合計 | | | | 1.800 |
| ひびわれ幅0.40 mm 合計 | | | | 2.350 |

注入材：エポキシ樹脂3種

## ひびわれ充填工

＜頂版__2ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 1.800 | 1.800 |
| | | | | |
| 延長 合計 | | | | 1.800 |

充填材：シーラント系

## 断面修復工

＜頂版__2ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.150 | 0.100 | 1 | 0.015 | | 腐食 |
| D2 | 0.050 | 0.050 | 1 | 0.003 | | 腐食 |
| D3 | 0.050 | 0.150 | 1 | 0.008 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.100 | 1 | 0.005 | | 腐食 |
| D4 | 0.050 | 0.200 | 1 | 0.010 | | 腐食 |
| | | | | | | |
| 面積集計 (m2) | | 腐食 | | 0.041 | | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル

### 補修凡例

| 記 号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破 損 | | |
| 鉄 筋 突 出 | | |
| 浸 入 水 | | |
| 腐 食 | | |
| 取付管突出し | | |

注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

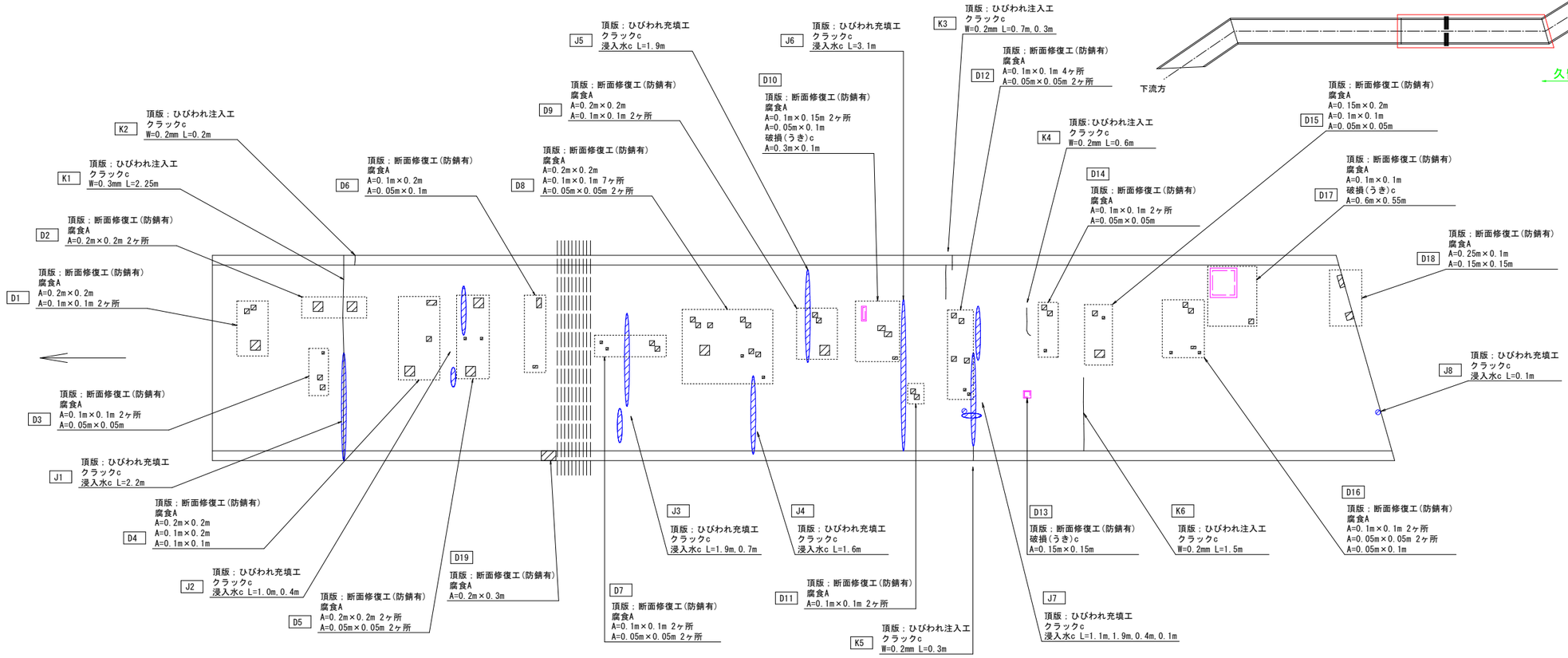
| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令 和 ８ 年 度 |
| 事 業 名 | **久留米市公共下水道事業** |
| 修 繕 名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修（筒川外） |
| 修繕場所 | 久留米市合川町 外 地内 |
| 図面名称 | 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（１） |
| 図面番号 | 2/17 縮尺 図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

# 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（２）

## 頂版補修図（２） S=1:50

### ３ブロック

下面図




## ひびわれ注入工

＜頂版_3ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅ｔ(mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| K1 | 0.300 | 1 | 2.250 | 2.250 |
| K2 | 0.200 | 1 | 0.200 | 0.200 |
| K3 | 0.200 | 1 | 0.700 | 0.700 |
| | 0.200 | 1 | 0.300 | 0.300 |
| K4 | 0.200 | 1 | 0.600 | 0.600 |
| K5 | 0.200 | 1 | 0.300 | 0.300 |
| K6 | 0.200 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| 集計表 | | | | |
| ひびわれ幅0.20 mm 合計 | | | | 3.600 |
| ひびわれ幅0.30 mm 合計 | | | | 2.250 |

注入材：エポキシ樹脂3種

## ひびわれ充填工

＜頂版_3ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅ｔ(mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 2.200 | 2.200 |
| J2 | 浸入水 | 1 | 1.000 | 1.000 |
| | 浸入水 | 1 | 0.400 | 0.400 |
| J3 | 浸入水 | 1 | 1.900 | 1.900 |
| | 浸入水 | 1 | 0.700 | 0.700 |
| J4 | 浸入水 | 1 | 1.600 | 1.600 |
| J5 | 浸入水 | 1 | 1.900 | 1.900 |
| J6 | 浸入水 | 1 | 3.100 | 3.100 |
| J7 | 浸入水 | 1 | 1.100 | 1.100 |
| | 浸入水 | 1 | 1.900 | 1.900 |
| | 浸入水 | 1 | 0.400 | 0.400 |
| | 浸入水 | 1 | 0.100 | 0.100 |
| J8 | 浸入水 | 1 | 0.100 | 0.100 |
| | | | | |
| 延長 合計 | | | | 16.400 |

充填材：シーラント系

## 断面修復工

＜頂版_3ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.200 | 0.200 | 1 | 0.040 | | 腐食 |
| | 0.100 | 0.100 | 2 | 0.020 | | 腐食 |
| D2 | 0.200 | 0.200 | 2 | 0.080 | | 腐食 |
| D3 | 0.100 | 0.100 | 2 | 0.020 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 1 | 0.003 | | 腐食 |
| D4 | 0.200 | 0.200 | 1 | 0.040 | | 腐食 |
| | 0.100 | 0.200 | 1 | 0.020 | | 腐食 |
| | 0.100 | 0.100 | 1 | 0.010 | | 腐食 |
| D5 | 0.200 | 0.200 | 2 | 0.080 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 2 | 0.005 | | 腐食 |
| D6 | 0.100 | 0.200 | 1 | 0.020 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.100 | 1 | 0.005 | | 腐食 |
| D7 | 0.100 | 0.100 | 2 | 0.020 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 2 | 0.005 | | 腐食 |
| D8 | 0.200 | 0.200 | 1 | 0.040 | | 腐食 |
| | 0.100 | 0.100 | 7 | 0.070 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 2 | 0.005 | | 腐食 |
| D9 | 0.200 | 0.200 | 1 | 0.040 | | 腐食 |
| | 0.100 | 0.100 | 2 | 0.020 | | 腐食 |

＜頂版_3ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D10 | 0.100 | 0.150 | 2 | 0.030 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.100 | 1 | 0.005 | | 腐食 |
| | 0.300 | 0.100 | 1 | 0.030 | | うき |
| D11 | 0.100 | 0.100 | 2 | 0.020 | | 腐食 |
| D12 | 0.100 | 0.100 | 4 | 0.040 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 2 | 0.005 | | 腐食 |
| D13 | 0.150 | 0.150 | 1 | 0.023 | | うき |
| D14 | 0.100 | 0.100 | 2 | 0.020 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 1 | 0.003 | | 腐食 |
| D15 | 0.150 | 0.200 | 1 | 0.030 | | 腐食 |
| | 0.100 | 0.100 | 1 | 0.010 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 1 | 0.003 | | 腐食 |
| D16 | 0.100 | 0.100 | 2 | 0.020 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 2 | 0.005 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.100 | 1 | 0.005 | | 腐食 |
| D17 | 0.100 | 0.100 | 1 | 0.010 | | 腐食 |
| | 0.600 | 0.550 | 1 | 0.330 | | うき |
| D18 | 0.250 | 0.100 | 1 | 0.025 | | 腐食 |
| | 0.150 | 0.150 | 1 | 0.023 | | 腐食 |
| D19 | 0.200 | 0.300 | 1 | 0.060 | | 腐食 |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | | 腐食 | | 0.857 | | |
| | | うき | | 0.383 | | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル

### 補修凡例

| 記 号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破 損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸入水 | | |
| 腐 食 | | |
| 取付管突出し | | |

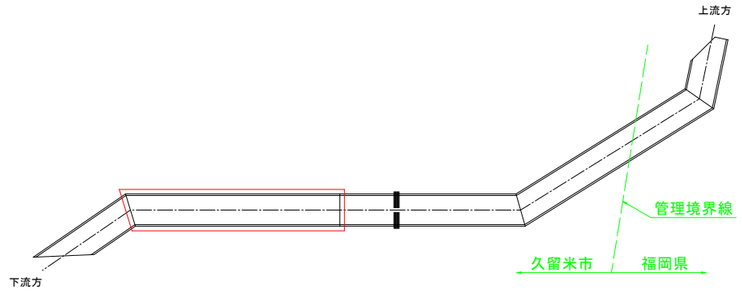
注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和 ８年度 |
| 事業名 | **久留米市公共下水道事業** |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外) |
| 修繕場所 | 久留米市合川町 外 地内 |
| 図面名称 | 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（２） |
| 図面番号 | 3/17 縮尺 図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

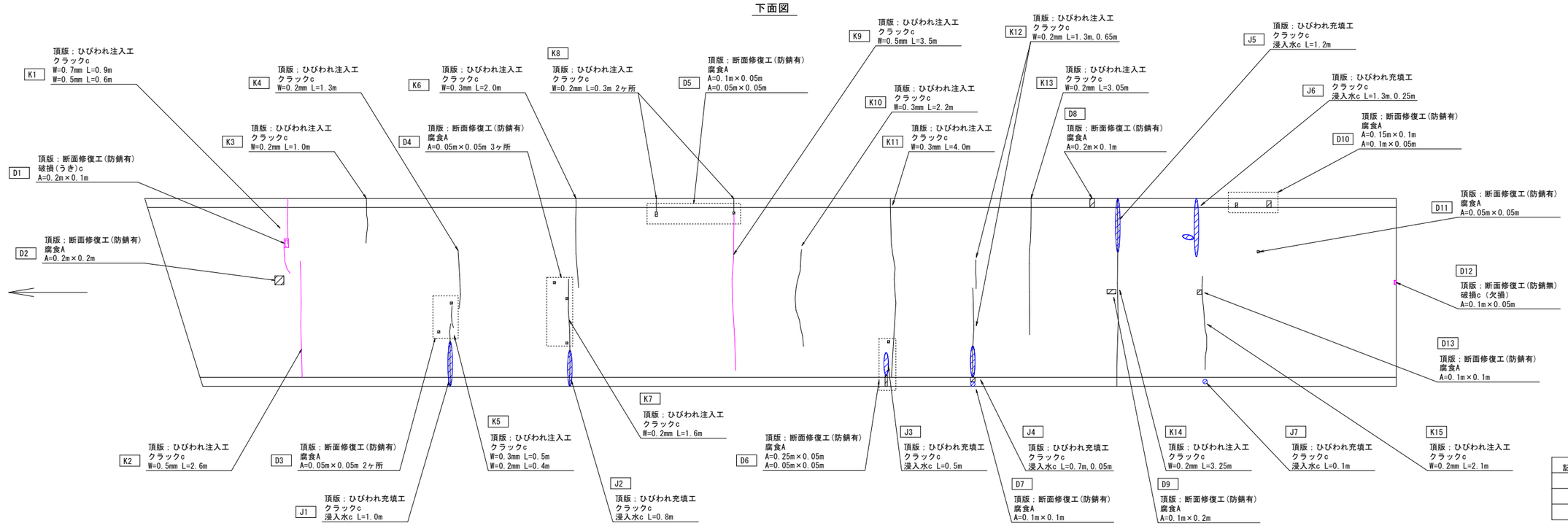
# 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（３）

## 頂版補修図（３） S=1:50

### ４ブロック




下面図




## ひびわれ注入工

＜頂版_4ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅ｔ(mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| K1 | 0.700 | 1 | 0.900 | 0.900 |
| | 0.500 | 1 | 0.600 | 0.600 |
| K2 | 0.500 | 1 | 2.600 | 2.600 |
| K3 | 0.200 | 1 | 1.000 | 1.000 |
| K4 | 0.200 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| K5 | 0.300 | 1 | 0.500 | 0.500 |
| | 0.200 | 1 | 0.400 | 0.400 |
| K6 | 0.300 | 1 | 2.000 | 2.000 |
| K7 | 0.200 | 1 | 1.600 | 1.600 |
| K8 | 0.200 | 2 | 0.300 | 0.600 |
| K9 | 0.500 | 1 | 3.500 | 3.500 |
| K10 | 0.300 | 1 | 2.200 | 2.200 |
| K11 | 0.300 | 1 | 4.000 | 4.000 |
| K12 | 0.200 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| | 0.200 | 1 | 0.650 | 0.650 |
| K13 | 0.200 | 1 | 3.050 | 3.050 |
| K14 | 0.200 | 1 | 3.250 | 3.250 |
| K15 | 0.200 | 1 | 2.100 | 2.100 |
| 集計表 | | | | |
| ひびわれ幅0.20 mm 合計 | | | | 15.250 |
| ひびわれ幅0.30 mm 合計 | | | | 8.700 |
| ひびわれ幅0.50 mm 合計 | | | | 6.700 |
| ひびわれ幅0.70 mm 合計 | | | | 0.900 |

注入材：エポキシ樹脂3種

## ひびわれ充填工

＜頂版_4ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅ｔ(mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 1.000 | 1.000 |
| J2 | 浸入水 | 1 | 0.800 | 0.800 |
| J3 | 浸入水 | 1 | 0.500 | 0.500 |
| J4 | 浸入水 | 1 | 0.700 | 0.700 |
| | 浸入水 | 1 | 0.050 | 0.050 |
| J5 | 浸入水 | 1 | 1.200 | 1.200 |
| J6 | 浸入水 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| | 浸入水 | 1 | 0.250 | 0.250 |
| J7 | 浸入水 | 1 | 0.100 | 0.100 |
| | | | | |
| 延長 合計 | | | | 5.900 |

充填材：シーラント系

## 断面修復工

＜頂版_4ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.200 | 0.100 | 1 | 0.020 | | うき |
| D2 | 0.200 | 0.200 | 1 | 0.040 | | 腐食 |
| D3 | 0.050 | 0.050 | 2 | 0.005 | | 腐食 |
| D4 | 0.050 | 0.050 | 3 | 0.008 | | 腐食 |
| D5 | 0.100 | 0.050 | 1 | 0.005 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 1 | 0.003 | | 腐食 |
| D6 | 0.250 | 0.050 | 1 | 0.013 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 1 | 0.003 | | 腐食 |
| D7 | 0.100 | 0.100 | 1 | 0.010 | | 腐食 |
| D8 | 0.200 | 0.100 | 1 | 0.020 | | 腐食 |
| D9 | 0.100 | 0.200 | 1 | 0.020 | | 腐食 |
| D10 | 0.150 | 0.100 | 1 | 0.015 | | 腐食 |
| | 0.100 | 0.050 | 1 | 0.005 | | 腐食 |
| D11 | 0.050 | 0.050 | 1 | 0.003 | | 腐食 |
| D12 | 0.100 | 0.050 | 1 | | 0.005 | 欠損 |
| D13 | 0.100 | 0.100 | 1 | 0.010 | | 腐食 |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | | 腐食 | | 0.160 | | |
| | | うき | | 0.020 | | |
| | | 欠損 | | | 0.005 | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル

### 補修凡例

| 記 号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破 損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸 入 水 | | |
| 腐 食 | | |
| 取付管突出し | | |

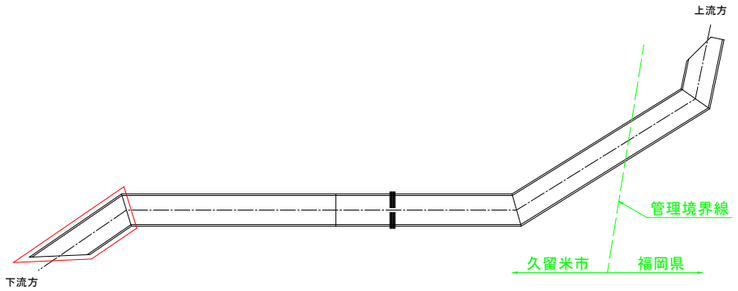
注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから現場施工時数量精査を行う事。

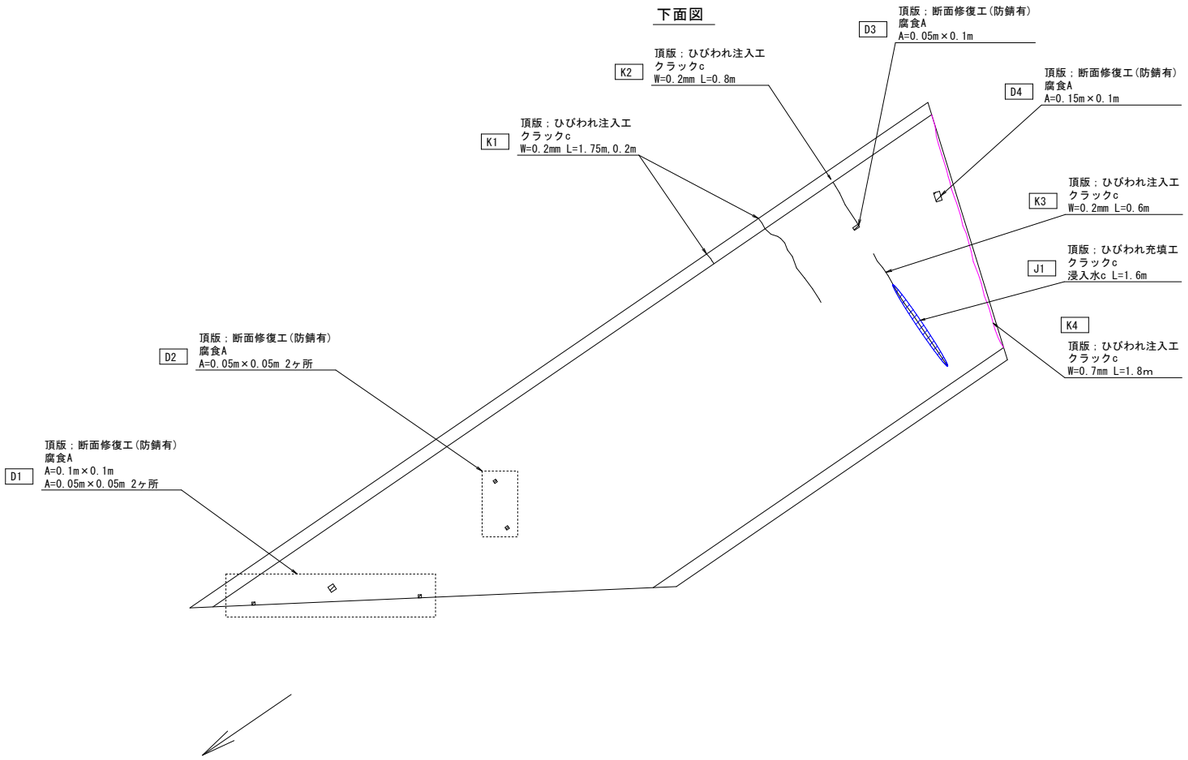
| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和 ８年度 |
| 事業名 | 久留米市公共下水道事業 |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修（筒川外） |
| 修繕場所 | 久留米市合川町 外 地内 |
| 図面名称 | 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（３） |
| 図面番号 | 4/17 縮尺 図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

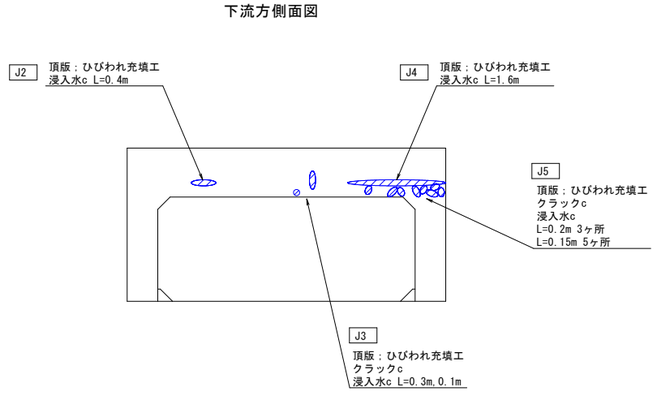
# 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（４）

## 頂版補修図（４） S=1:50

### ５ブロック




### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸入水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

### ひびわれ注入工

＜頂版_5ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| K1 | 0.200 | 1 | 1.750 | 1.750 |
| | 0.200 | 1 | 0.200 | 0.200 |
| K2 | 0.200 | 1 | 0.800 | 0.800 |
| K3 | 0.200 | 1 | 0.600 | 0.600 |
| K4 | 0.700 | 1 | 1.800 | 1.800 |
| 集計表 | | | | |
| ひびわれ幅0.20 mm 合計 | | | | 3.350 |
| ひびわれ幅0.70 mm 合計 | | | | 1.800 |

注入材；エポキシ樹脂3種

### ひびわれ充填工

＜頂版_5ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 1.600 | 1.600 |
| J2 | 浸入水 | 1 | 0.400 | 0.400 |
| J3 | 浸入水 | 1 | 0.300 | 0.300 |
| | 浸入水 | 1 | 0.100 | 0.100 |
| J4 | 浸入水 | 1 | 1.600 | 1.600 |
| J5 | 浸入水 | 3 | 0.200 | 0.600 |
| | 浸入水 | 5 | 0.150 | 0.750 |
| | | | | |
| 延長 合計 | | | | 5.350 |

充填材；シーラント系

### 断面修復工

＜頂版_5ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.100 | 0.100 | 1 | 0.010 | | 腐食 |
| | 0.050 | 0.050 | 2 | 0.005 | | 腐食 |
| D2 | 0.050 | 0.050 | 2 | 0.005 | | 腐食 |
| D3 | 0.050 | 0.100 | 1 | 0.005 | | 腐食 |
| D4 | 0.150 | 0.100 | 1 | 0.015 | | 腐食 |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | | 腐食 | | 0.040 | | |

断面修復材；ポリマーセメントモルタル

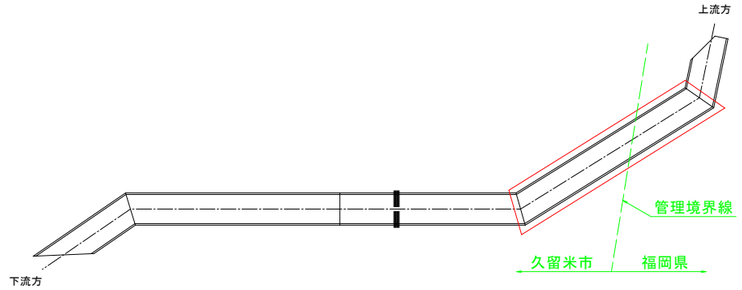
注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

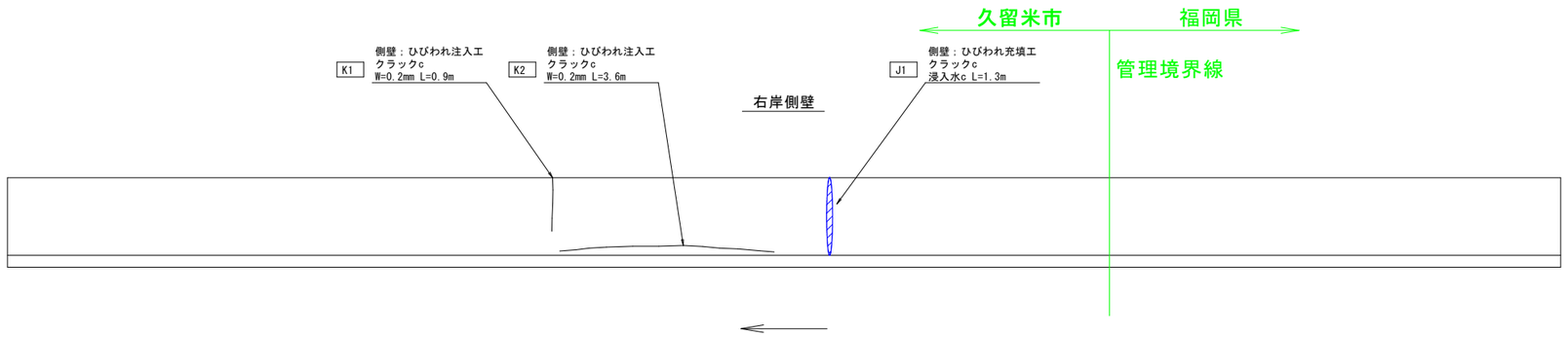
| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 | | |
| 事業名 | **久留米市公共下水道事業** | | |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外) | | |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 | | |
| 図面名称 | 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（４） | | |
| 図面番号 | 5/17 | 縮尺 | 図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | | | |

# 筒川雨水幹線　頂版・側壁補修図（５）

## 側壁補修図（１）　S=1:50

２ブロック



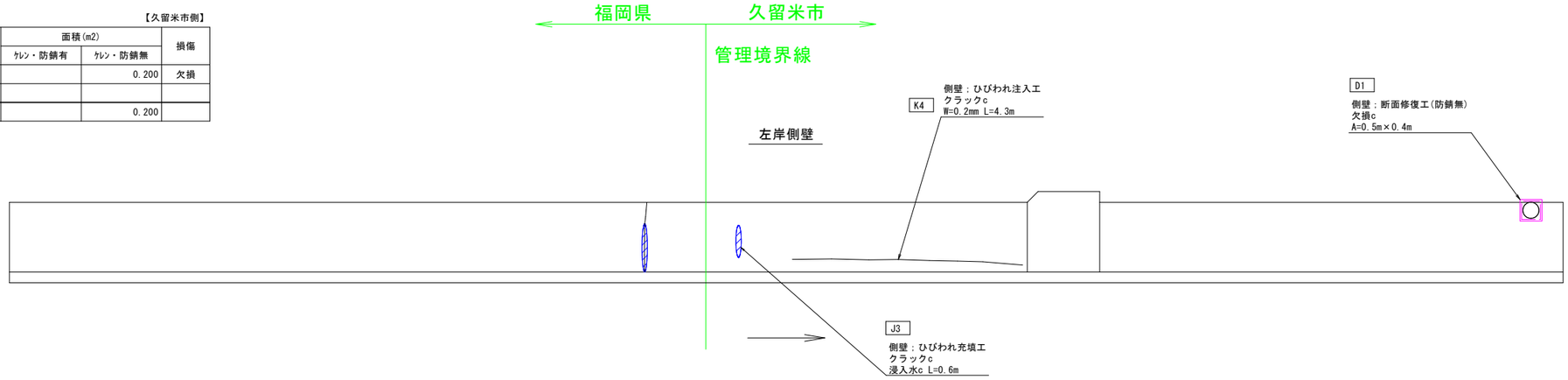




## 断面修復工

＜側壁_2ブロック＞　　【久留米市側】

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.500 | 0.400 | 1 | | 0.200 | 欠損 |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | | 欠損 | | | 0.200 | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル




## ひびわれ注入工

＜側壁_2ブロック＞　　【久留米市側】

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| K1 | 0.200 | 1 | 0.900 | 0.900 |
| K2 | 0.200 | 1 | 3.600 | 3.600 |
| K4 | 0.200 | 1 | 4.300 | 4.300 |
| 集計表 | | | | |
| ひびわれ幅0.20　mm　合計 | | | | 8.800 |

注入材：エポキシ樹脂3種

## ひびわれ充填工

＜側壁_2ブロック＞　　【久留米市側】

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| J3 | 浸入水 | 1 | 0.600 | 0.600 |
| | | | | |
| 延長　合計 | | | | 1.900 |

充填材：シーラント系

### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸入水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

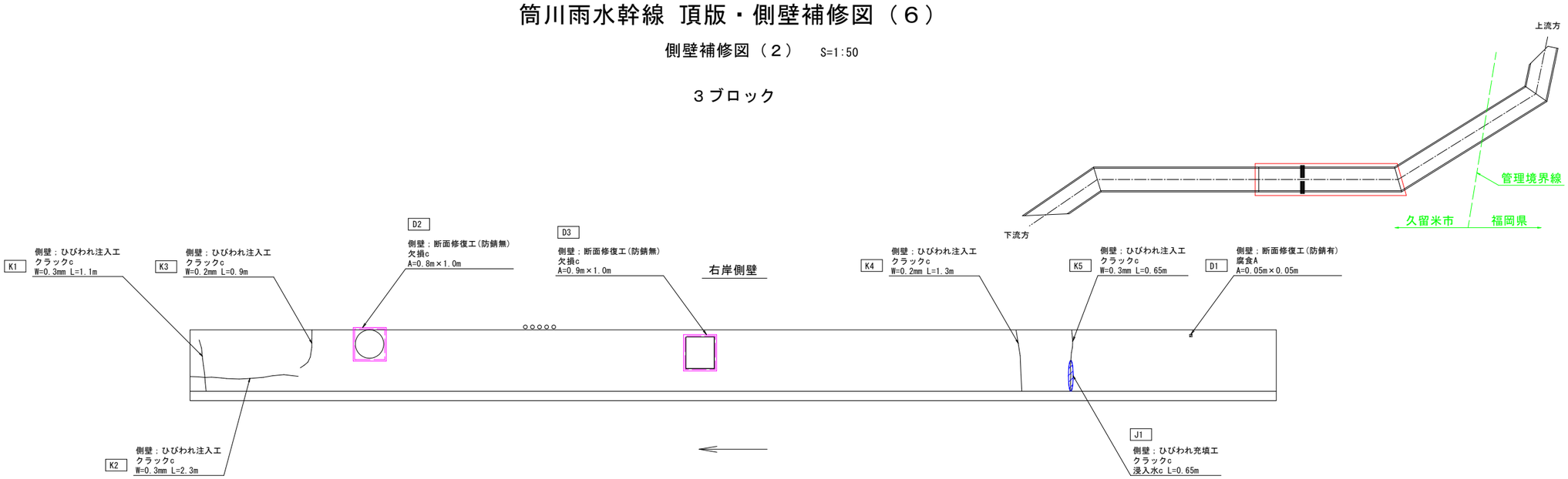
注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 |
| 事業名 | **久留米市公共下水道事業** |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修（筒川外） |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（５） |
| 図面番号 | 6/17　縮尺　図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

# 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（６）

## 側壁補修図（２） S=1:50

### ３ブロック




## ひびわれ注入工

＜側壁_3ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅ｔ(mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| K1 | 0.300 | 1 | 1.100 | 1.100 |
| K2 | 0.300 | 1 | 2.300 | 2.300 |
| K3 | 0.200 | 1 | 0.900 | 0.900 |
| K4 | 0.200 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| K5 | 0.300 | 1 | 0.650 | 0.650 |
| K6 | 0.200 | 1 | 0.300 | 0.300 |
| K7 | 0.200 | 1 | 0.850 | 0.850 |
| K8 | 0.200 | 2 | 1.100 | 2.200 |
| K9 | 0.200 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| K10 | 0.200 | 1 | 1.050 | 1.050 |
| K11 | 0.200 | 1 | 1.100 | 1.100 |
| K12 | 0.200 | 1 | 1.200 | 1.200 |
| K13 | 0.200 | 1 | 1.000 | 1.000 |
| K14 | 0.200 | 1 | 3.600 | 3.600 |
| K15 | 0.200 | 1 | 0.800 | 0.800 |
| K16 | 0.200 | 1 | 1.050 | 1.050 |
| 集計表 | | | | |
| ひびわれ幅0.20 mm 合計 | | | | 16.650 |
| ひびわれ幅0.30 mm 合計 | | | | 4.050 |

注入材：エポキシ樹脂3種

## ひびわれ充填工

＜側壁_3ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 幅ｔ(mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 0.650 | 0.650 |
| J2 | 浸入水 | 1 | 0.050 | 0.050 |
| J3 | 浸入水 | 1 | 0.100 | 0.100 |
| J4 | 浸入水 | 1 | 0.100 | 0.100 |
| J5 | 浸入水 | 1 | 0.250 | 0.250 |
| | | | | |
| 延長 合計 | | | | 1.150 |

充填材：シーラント系

## 断面修復工

＜側壁_3ブロック＞ 【久留米市側】

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.050 | 0.050 | 1 | 0.003 | | 腐食 |
| D2 | 0.800 | 1.000 | 1 | | 0.800 | 欠損 |
| D3 | 0.900 | 1.000 | 1 | | 0.900 | 欠損 |
| D4 | 0.200 | 0.600 | 1 | 0.120 | | 腐食 |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | | 腐食 | | 0.123 | | |
| | | 欠損 | | | 1.700 | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル

### 補修凡例

| 記 号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破 損 | | |
| 鉄 筋 突 出 | | |
| 浸 入 水 | | |
| 腐 食 | | |
| 取付管突出し | | |

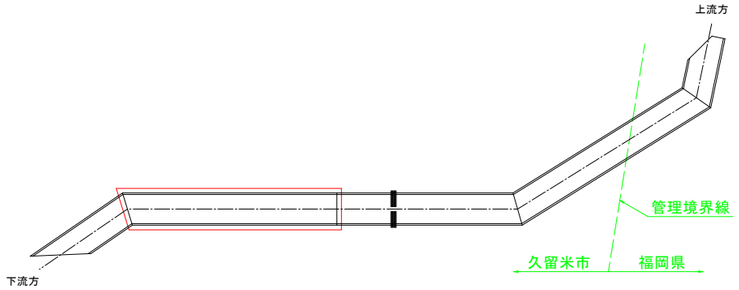
注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

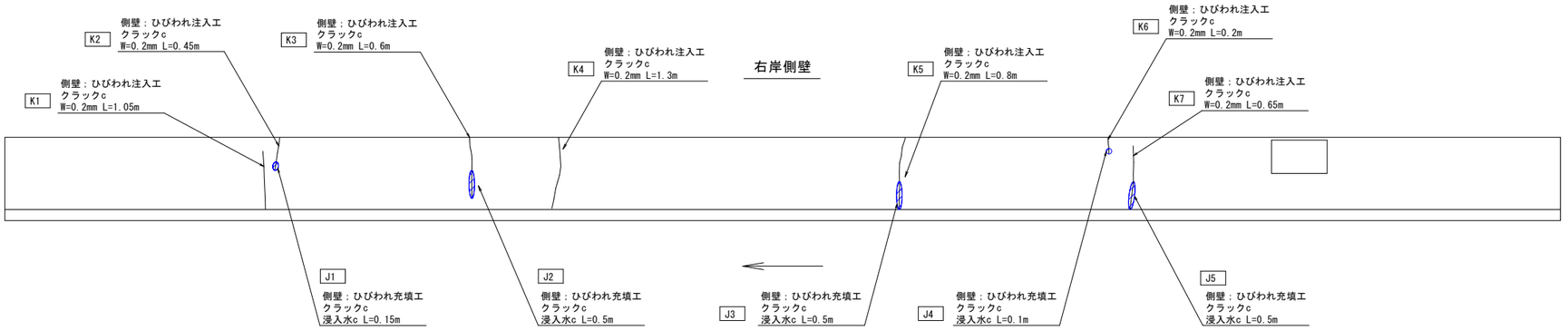
| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令 和 ８ 年 度 |
| 事 業 名 | 久留米市公共下水道事業 |
| 修 繕 名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外) |
| 修繕場所 | 久留米市合川町 外 地内 |
| 図面名称 | 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（６） |
| 図面番号 | 7/17 縮尺 図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

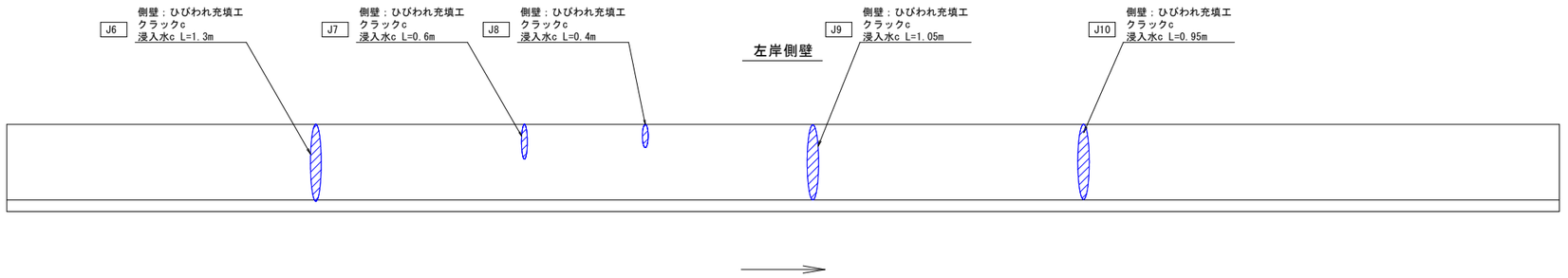
# 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（７）

## 側壁補修図（３）　S=1:50

### ４ブロック




## ひびわれ注入工

＜側壁_4ブロック＞　　【久留米市側】

| 番号 | 幅ｔ(mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| K1 | 0.200 | 1 | 1.050 | 1.050 |
| K2 | 0.200 | 1 | 0.450 | 0.450 |
| K3 | 0.200 | 1 | 0.600 | 0.600 |
| K4 | 0.200 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| K5 | 0.200 | 1 | 0.800 | 0.800 |
| K6 | 0.200 | 1 | 0.200 | 0.200 |
| K7 | 0.200 | 1 | 0.650 | 0.650 |
| 集計表 | | | | |
| ひびわれ幅0.20　mm　合計 | | | | 5.050 |

注入材：エポキシ樹脂3種

## ひびわれ充填工

＜側壁_4ブロック＞　　【久留米市側】

| 番号 | 幅ｔ(mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 0.150 | 0.150 |
| J2 | 浸入水 | 1 | 0.500 | 0.500 |
| J3 | 浸入水 | 1 | 0.500 | 0.500 |
| J4 | 浸入水 | 1 | 0.100 | 0.100 |
| J5 | 浸入水 | 1 | 0.500 | 0.500 |
| J6 | 浸入水 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| J7 | 浸入水 | 1 | 0.600 | 0.600 |
| J8 | 浸入水 | 1 | 0.400 | 0.400 |
| J9 | 浸入水 | 1 | 1.050 | 1.050 |
| J10 | 浸入水 | 1 | 0.950 | 0.950 |
| | | | | |
| 延長　合計 | | | | 6.050 |

充填材：シーラント系

### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸　入　水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

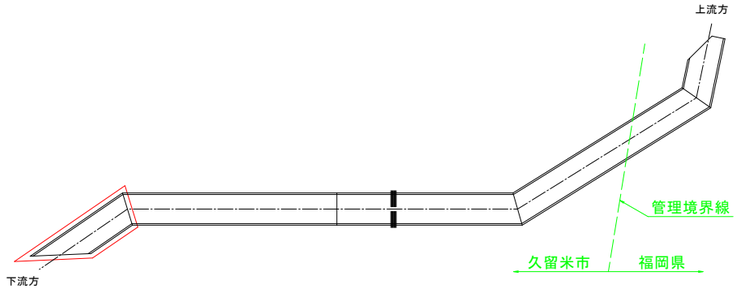
注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

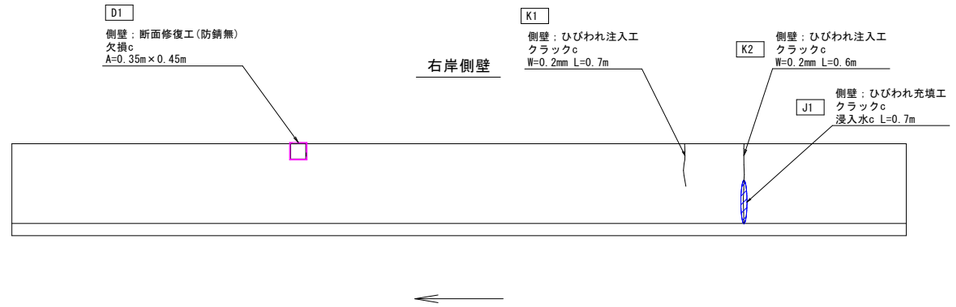
| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 |
| 事業名 | **久留米市公共下水道事業** |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修（筒川外） |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（７） |
| 図面番号 | 8/17　縮尺　図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

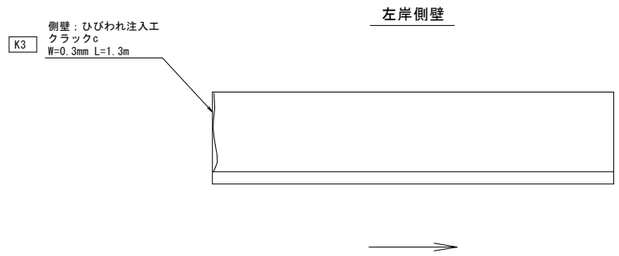
# 筒川雨水幹線　頂版・側壁補修図（８）

## 側壁補修図（４）　S=1:50

５ブロック




### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸入水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

### ひびわれ注入工

＜側壁_5ブロック＞　【久留米市側】

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| K1 | 0.200 | 1 | 0.700 | 0.700 |
| K2 | 0.200 | 1 | 0.600 | 0.600 |
| K3 | 0.300 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| 集計表 | | | | |
| ひびわれ幅0.20　mm　合計 | | | | 1.300 |
| ひびわれ幅0.30　mm　合計 | | | | 1.300 |

注入材：エポキシ樹脂3種

### ひびわれ充填工

＜側壁_5ブロック＞　【久留米市側】

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 0.700 | 0.700 |
| | | | | |
| 延長　合計 | | | | 0.700 |

充填材：シーラント系

### 断面修復工

＜側壁_5ブロック＞　【久留米市側】

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.350 | 0.450 | 1 | | 0.158 | 欠損 |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | 欠損 | | | | 0.158 | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル

注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 |
| 事業名 | **久留米市公共下水道事業** |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修（筒川外） |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 筒川雨水幹線 頂版・側壁補修図（８） |
| 図面番号 | 9/17　縮尺　図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

# 大石町雨水幹線　補修一般図

S＝1：1000

(6)
L=26.1m
頂版・側壁
・断面修復工

(5)
L=39.4m
頂版・側壁
・断面修復工

(4)
L=29.0m
頂版・側壁
・断面修復工

(3)
L=16.2m
頂版・側壁
・ひびわれ補修工
・断面修復工

(2)
L=13.1m
頂版・側壁
・ひびわれ補修工
・断面修復工

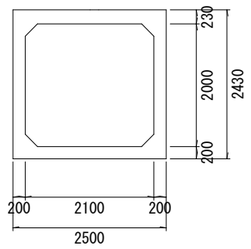
(1)
L=21.4m
頂版・側壁
・ひびわれ補修工
・断面修復工

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 | | |
| 事業名 | 久留米市公共下水道事業 | | |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修（筒川外） | | |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 | | |
| 図面名称 | 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（４） | | |
| 図面番号 | 10/17 | 縮尺 | 図示 |

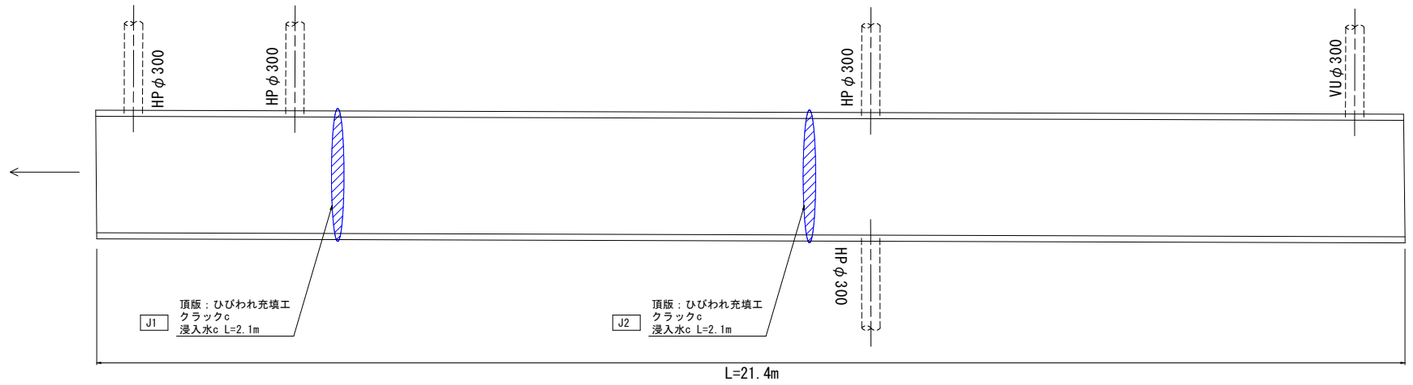
久留米市企業局 下水道整備課

# 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（１）

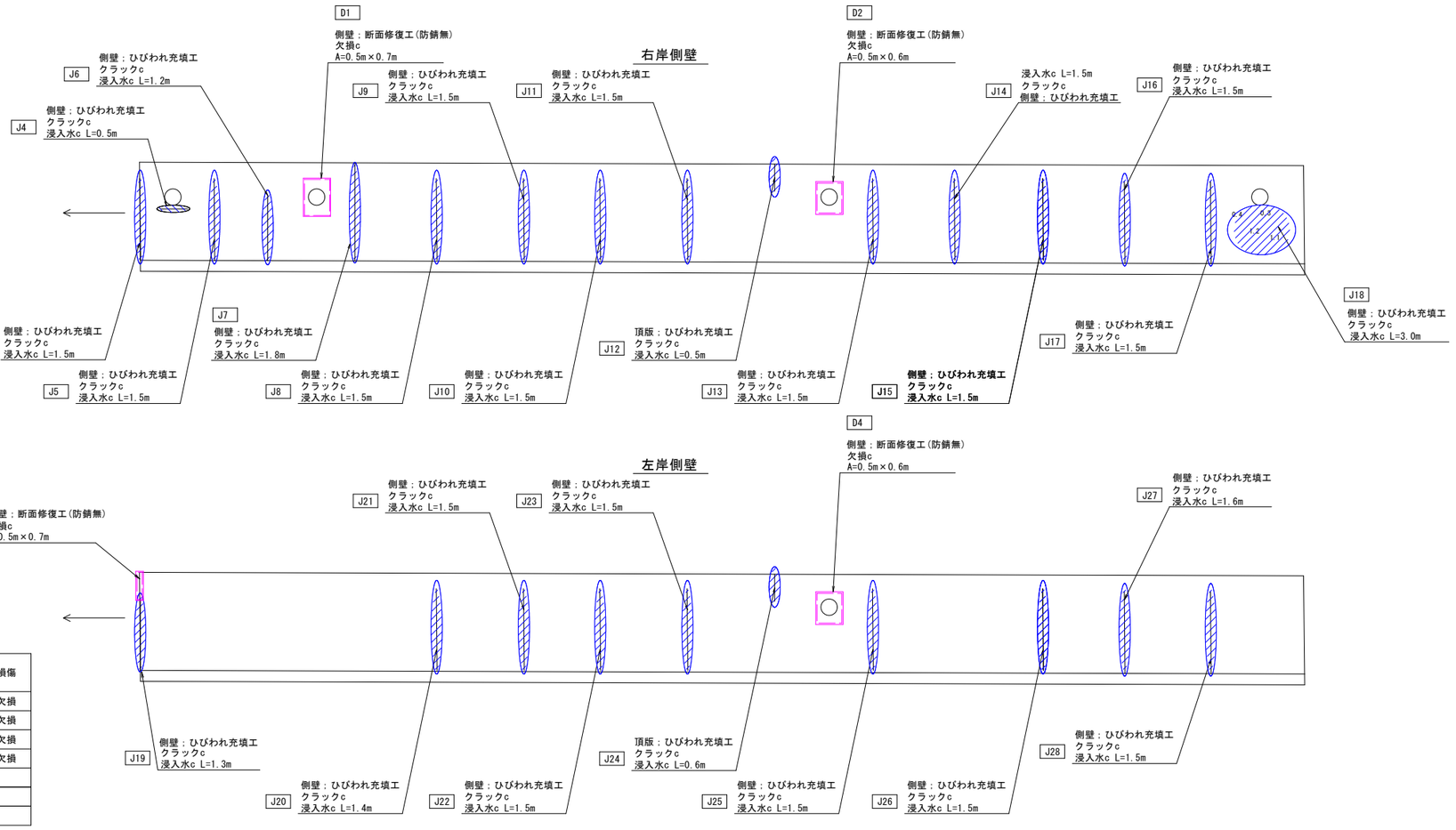
## 側　面　図 S=1:50




## 頂版補修図（１） S=1:50




## 側壁補修図（１） S=1:50




## ひびわれ充填工

＜頂版・側壁（１）＞

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 2.100 | 2.100 |
| J2 | 浸入水 | 1 | 2.100 | 2.100 |
| J3 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J4 | 浸入水 | 1 | 0.500 | 0.500 |
| J5 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J6 | 浸入水 | 1 | 1.200 | 1.200 |
| J7 | 浸入水 | 1 | 1.800 | 1.800 |
| J8 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J9 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J10 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J11 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J12 | 浸入水 | 1 | 0.500 | 0.500 |
| J13 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J14 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J15 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J16 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J17 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J18 | 浸入水 | 1 | 3.000 | 3.000 |
| J19 | 浸入水 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| J20 | 浸入水 | 1 | 1.400 | 1.400 |
| J21 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J22 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J23 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J24 | 浸入水 | 1 | 0.600 | 0.600 |
| J25 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J26 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J27 | 浸入水 | 1 | 1.600 | 1.600 |
| J28 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| 延長　合計 | | | | 41.600 |

充填材：シーラント系

## 断面修復工

＜頂版・側壁（１）＞

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.500 | 0.700 | 1 | | 0.350 | 欠損 |
| D2 | 0.500 | 0.600 | 1 | | 0.300 | 欠損 |
| D3 | 0.500 | 0.700 | 1 | | 0.350 | 欠損 |
| D4 | 0.500 | 0.600 | 1 | | 0.300 | 欠損 |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | 腐食 | | | | | |
| | 欠損 | | | | 1.300 | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル

注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

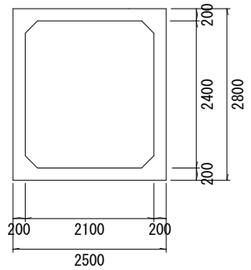
### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸入水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

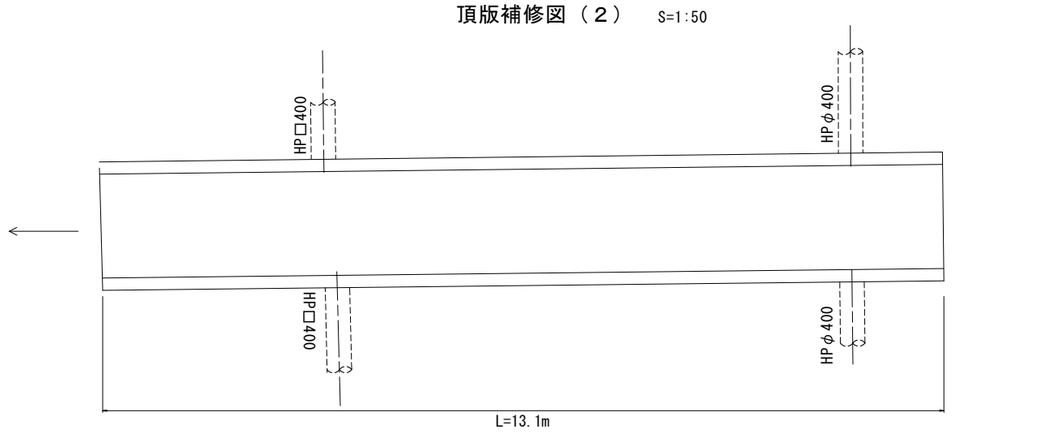
| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 |
| 事業名 | **久留米市公共下水道事業** |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(箇川外) |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（１） |
| 図面番号 | 11/17　縮尺　図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

# 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（２）

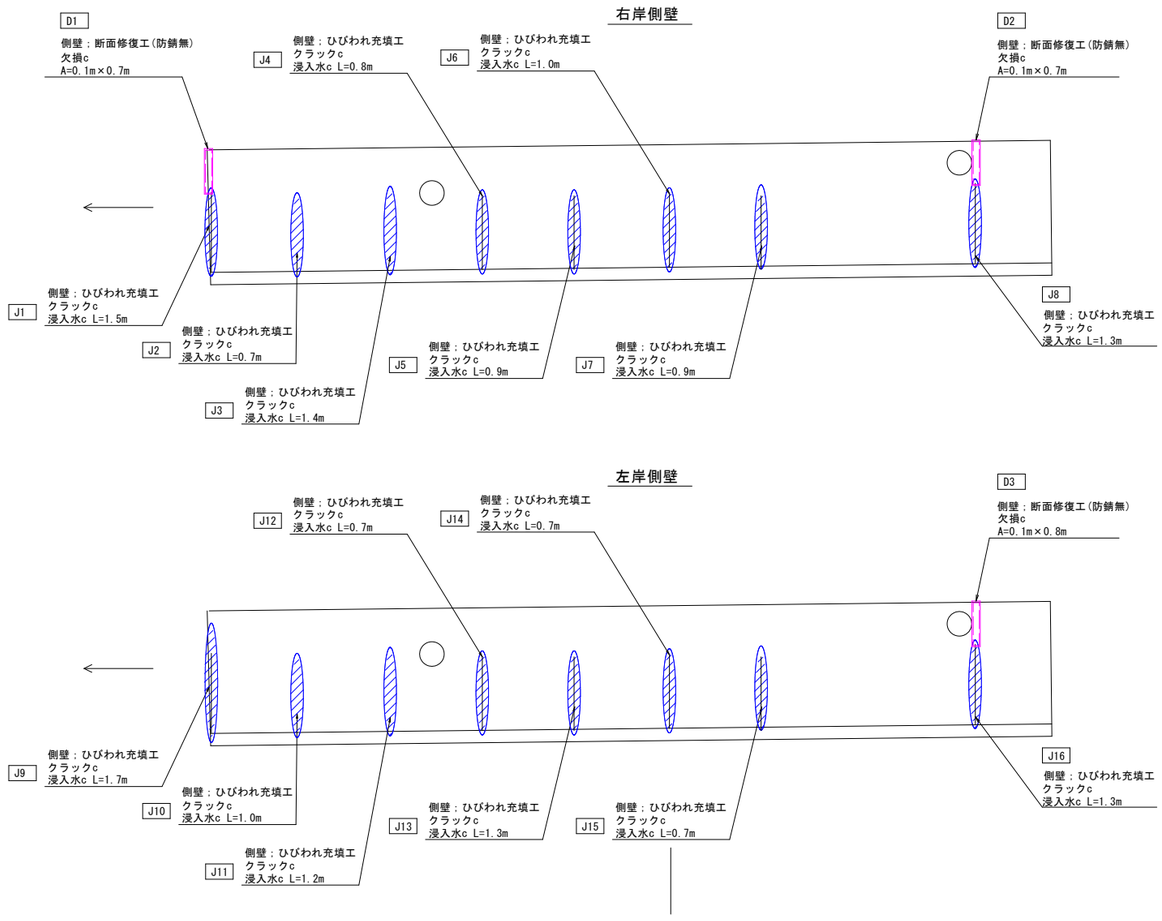
## 側　面　図 S=1:50




## 頂版補修図（２） S=1:50




## 側壁補修図（２） S=1:50




## ひびわれ充填工

＜頂版・側壁（２）＞

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 1.500 | 1.500 |
| J2 | 浸入水 | 1 | 0.700 | 0.700 |
| J3 | 浸入水 | 1 | 1.400 | 1.400 |
| J4 | 浸入水 | 1 | 0.800 | 0.800 |
| J5 | 浸入水 | 1 | 0.900 | 0.900 |
| J6 | 浸入水 | 1 | 1.000 | 1.000 |
| J7 | 浸入水 | 1 | 0.900 | 0.900 |
| J8 | 浸入水 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| J9 | 浸入水 | 1 | 1.700 | 1.700 |
| J10 | 浸入水 | 1 | 1.000 | 1.000 |
| J11 | 浸入水 | 1 | 1.200 | 1.200 |
| J12 | 浸入水 | 1 | 0.700 | 0.700 |
| J13 | 浸入水 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| J14 | 浸入水 | 1 | 0.700 | 0.700 |
| J15 | 浸入水 | 1 | 0.700 | 0.700 |
| J16 | 浸入水 | 1 | 1.300 | 1.300 |
| 延長　合計 | | | | 17.100 |

充填材：シーラント系

## 断面修復工

＜頂版・側壁（２）＞

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.100 | 0.700 | 1 | | 0.070 | 欠損 |
| D2 | 0.100 | 0.700 | 1 | | 0.070 | 欠損 |
| D3 | 0.100 | 0.800 | 1 | | 0.080 | 欠損 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 面積集計 (m2) | 腐食 | | | | | |
| | 欠損 | | | | 0.220 | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル

注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
   現場施工時数量精査を行う事。

### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

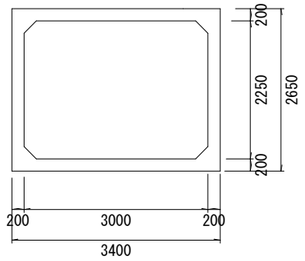
### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸入水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

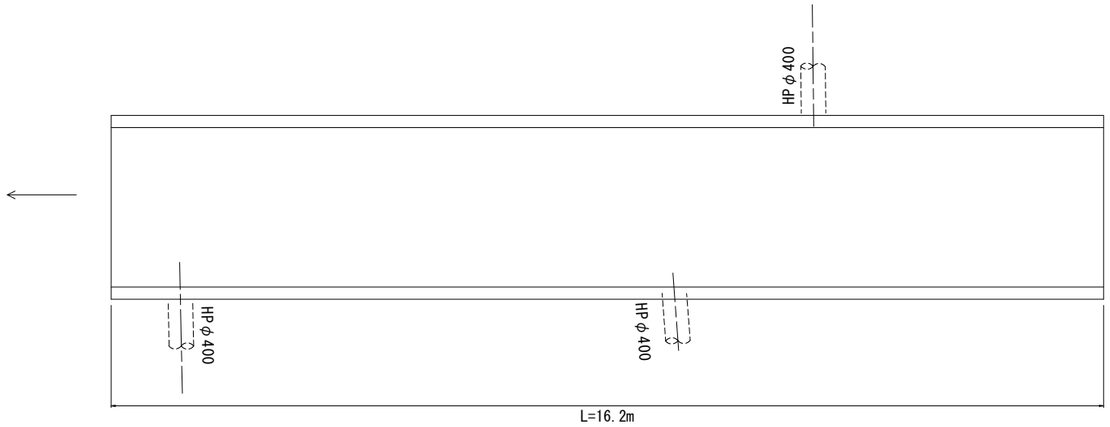
| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 |
| 事業名 | **久留米市公共下水道事業** |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外) |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（２） |
| 図面番号 | 12/17　縮尺　図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

# 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（３）

## 側　面　図 S=1:50

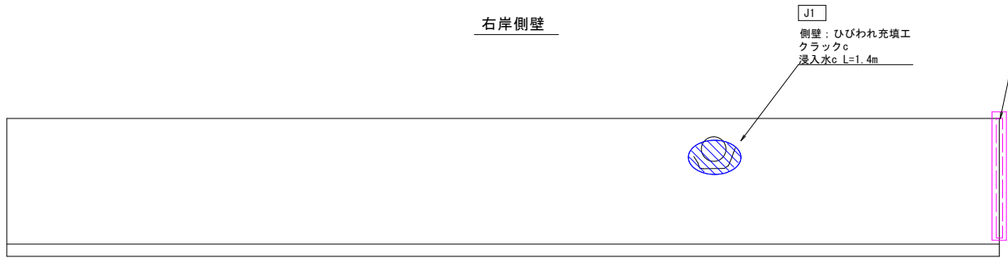



## 頂版補修図（３） S=1:50

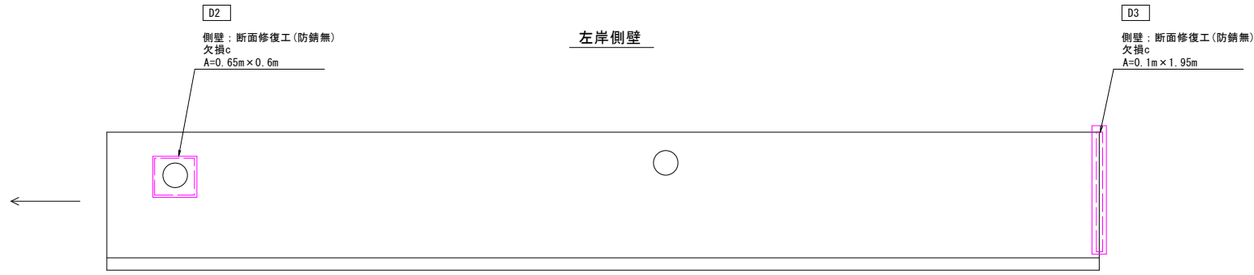



## 側壁補修図（３） S=1:50

右岸側壁




左岸側壁




### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸入水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

## ひびわれ充填工

＜頂版・側壁（３）＞

| 番号 | 幅 t (mm) | 箇所 | 延長(m) | 合計延長(m) |
|---|---|---|---|---|
| J1 | 浸入水 | 1 | 1.400 | 1.400 |
| | 延長　合計 | | | 1.400 |

充填材：シーラント系

## 断面修復工

＜頂版・側壁（３）＞

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.100 | 1.950 | 1 | | 0.195 | 欠損 |
| D2 | 0.650 | 0.600 | 1 | | 0.390 | 欠損 |
| D3 | 0.100 | 1.950 | 1 | | 0.195 | 欠損 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | | 腐食 | | | | |
| | | 欠損 | | | 0.780 | |

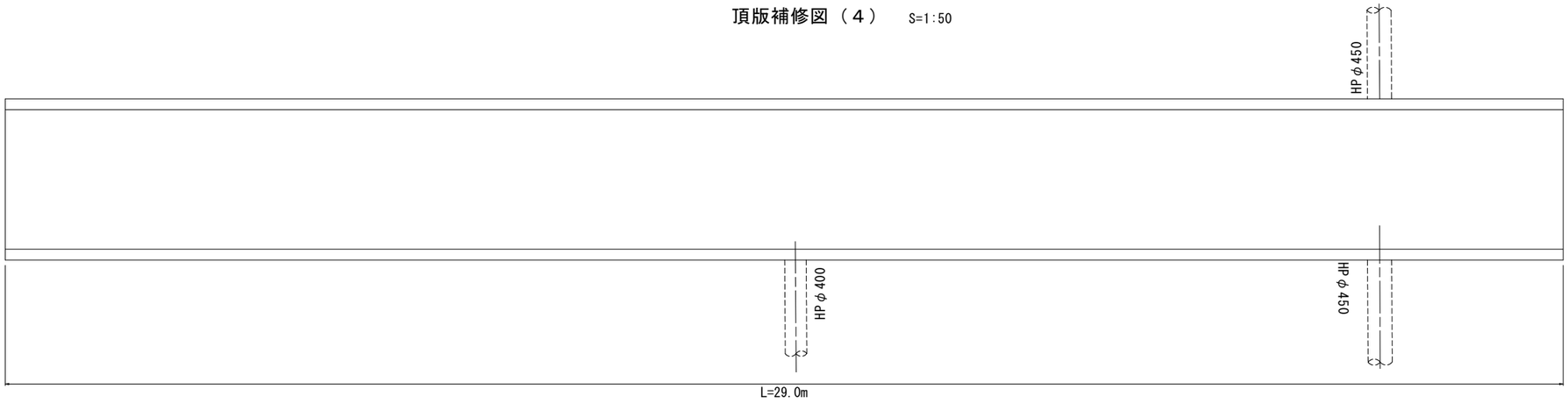
断面修復材：ポリマーセメントモルタル

注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
   現場施工時数量精査を行う事。

| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令 和　８ 年 度 |
| 事 業 名 | 久留米市公共下水道事業 |
| 修 繕 名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(箇川外) |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（３） |
| 図面番号 | 13/17　縮尺　図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

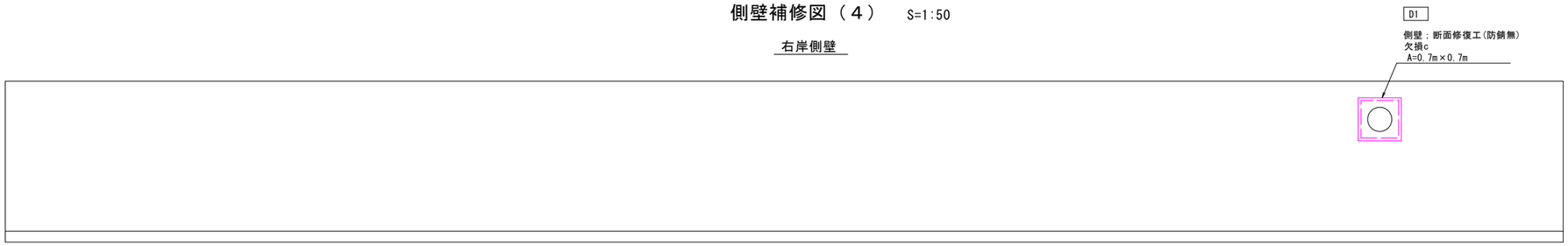
# 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（４）

## 頂版補修図（４） S=1:50

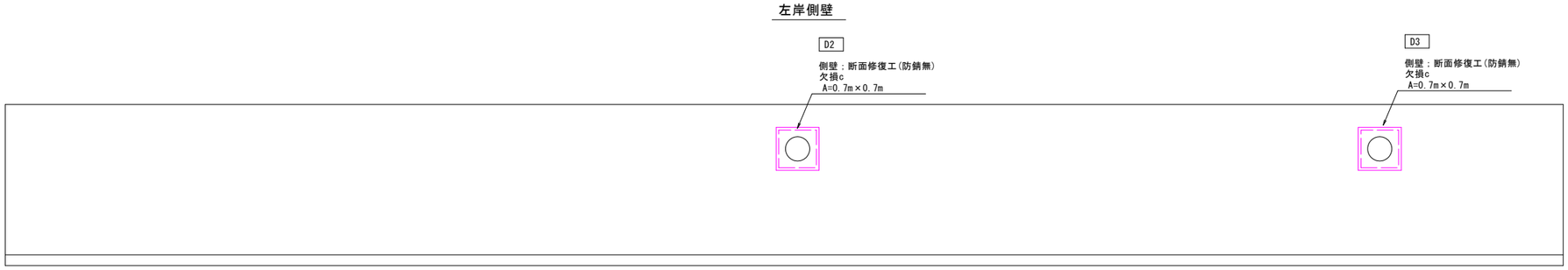



## 側壁補修図（４） S=1:50

右岸側壁




左岸側壁



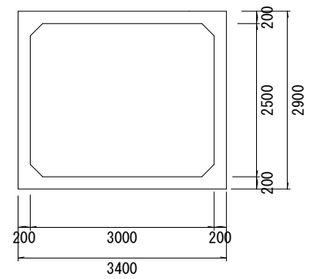

### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸　入　水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

## 側　面　図 S=1:50




## 断面修復工

＜頂版・側壁（４）＞

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.700 | 0.700 | 1 | | 0.490 | 欠損 |
| D2 | 0.700 | 0.700 | 1 | | 0.490 | 欠損 |
| D3 | 0.700 | 0.700 | 1 | | 0.490 | 欠損 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | | 腐食 | | | | |
| | | 欠損 | | | 1.470 | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル

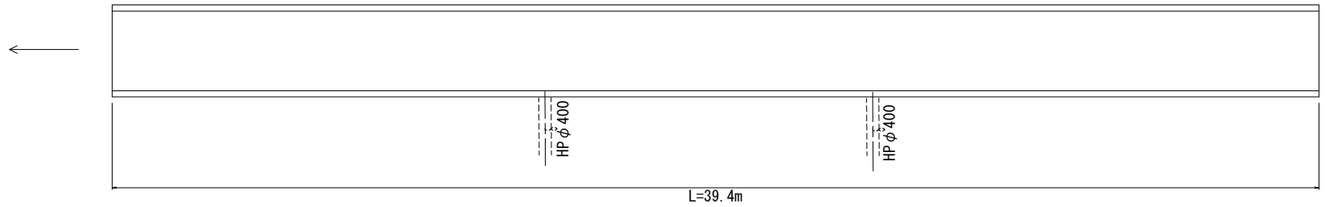
注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
   現場施工時数量精査を行う事。

| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令 和　８ 年 度 |
| 事 業 名 | **久留米市公共下水道事業** |
| 修 繕 名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外) |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（４） |
| 図面番号 | 14/17　縮尺　図示 |

久留米市企業局 下水道整備課

# 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（５）

## 頂版補修図（５） S=1:100

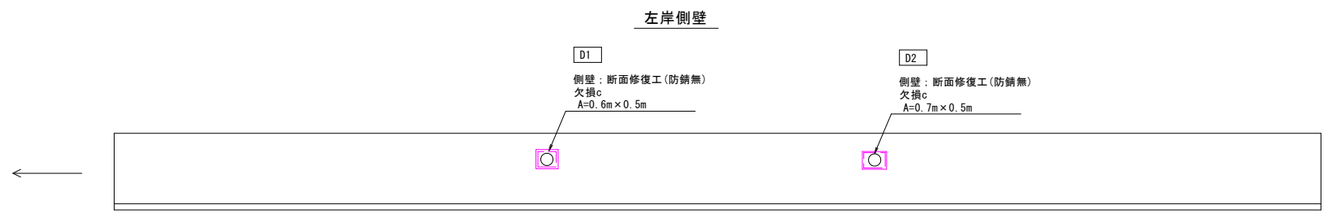



## 側壁補修図（５） S=1:100

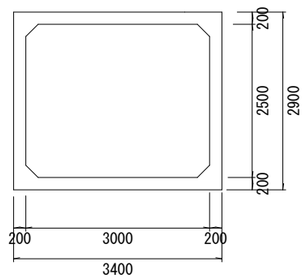
右岸側壁



左岸側壁




## 側　面　図 S=1:50




## 断面修復工

＜頂版・側壁（５）＞

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.600 | 0.500 | 1 | | 0.300 | 欠損 |
| D2 | 0.700 | 0.500 | 1 | | 0.350 | 欠損 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | | 腐食 | | | | |
| | | 欠損 | | | 0.650 | |

断面修復材；ポリマーセメントモルタル

注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

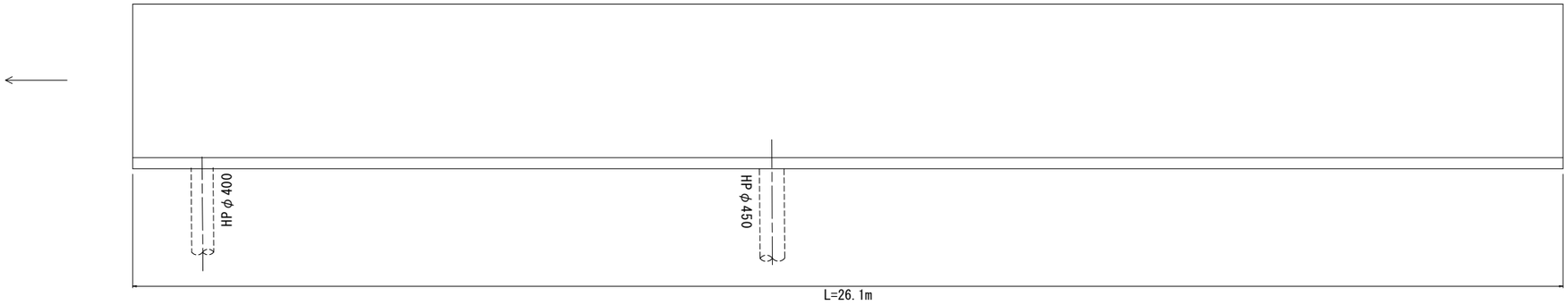
### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸入水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

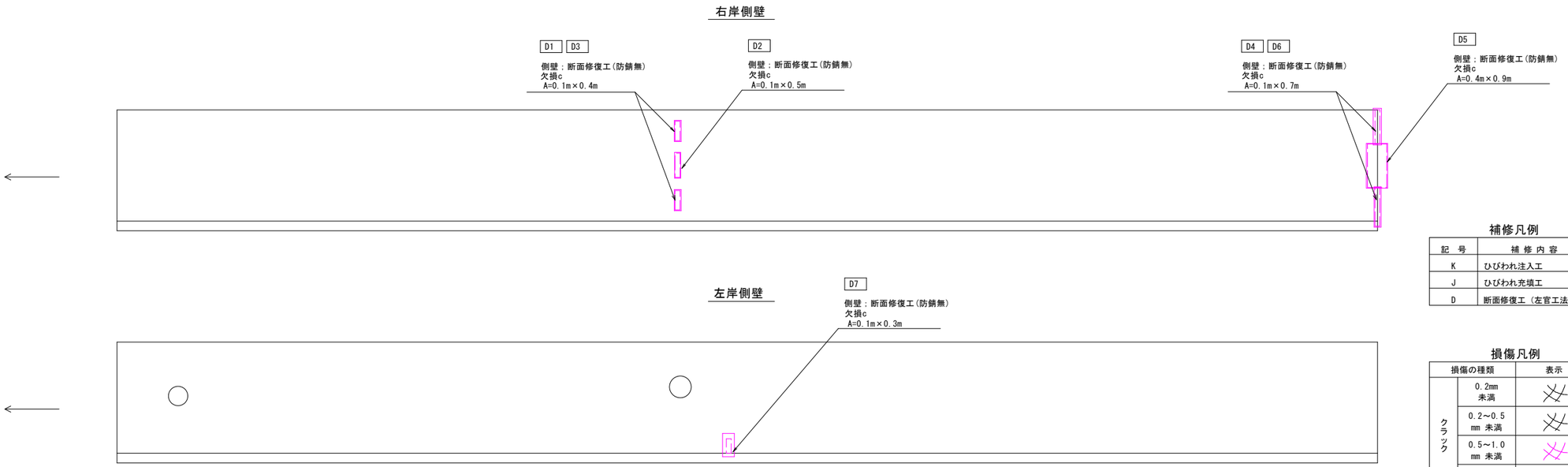
| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 |
| 事業名 | 久留米市公共下水道事業 |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外) |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（５） |
| 図面番号 | 15/17　縮尺　図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

# 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（６）

## 頂版補修図（６） S=1:50




## 側壁補修図（６） S=1:50



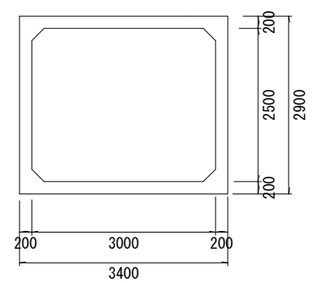

### 補修凡例

| 記　号 | 補 修 内 容 |
|---|---|
| K | ひびわれ注入工 |
| J | ひびわれ充填工 |
| D | 断面修復工（左官工法） |

### 損傷凡例

| 損傷の種類 | | 表示 |
|---|---|---|
| クラック | 0.2mm 未満 | |
| | 0.2～0.5 mm 未満 | |
| | 0.5～1.0 mm 未満 | |
| | 1.0mm 以上 | |
| 破　損 | | |
| 鉄筋突出 | | |
| 浸入水 | | |
| 腐　食 | | |
| 取付管突出し | | |

## 側　面　図 S=1:50




## 断面修復工

＜頂版・側壁（６）＞

| 番号 | 形状(m) | | 箇所 | 面積(m2) | | 損傷 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ｹﾚﾝ・防錆有 | ｹﾚﾝ・防錆無 | |
| D1 | 0.100 | 0.400 | 1 | | 0.040 | 欠損 |
| D2 | 0.100 | 0.500 | 1 | | 0.050 | 欠損 |
| D3 | 0.100 | 0.400 | 1 | | 0.040 | 欠損 |
| D4 | 0.100 | 0.700 | 1 | | 0.070 | 欠損 |
| D5 | 0.400 | 0.900 | 1 | | 0.360 | 欠損 |
| D6 | 0.100 | 0.700 | 1 | | 0.070 | 欠損 |
| D7 | 0.100 | 0.300 | 1 | | 0.030 | 欠損 |
| | | | | | | |
| 面積集計（m2） | 腐食 | | | | | |
| | 欠損 | | | | 0.660 | |

断面修復材：ポリマーセメントモルタル

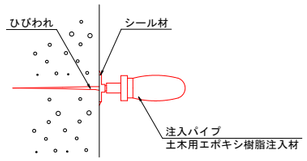
注）
1. 着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面・数量照合等の確認の後、施工を行う事。
2. ひびわれ深さ・断面修復厚等については、あくまで推定値となることから
現場施工時数量精査を行う事。

| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 |
| 事業名 | 久留米市公共下水道事業 |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(筒川外) |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 大石町雨水幹線 頂版・側壁補修図（６） |
| 図面番号 | 16/17　縮尺　図示 |
| 久留米市企業局 下水道整備課 | |

# 雨水幹線　補修標準図

## ひびわれ補修工

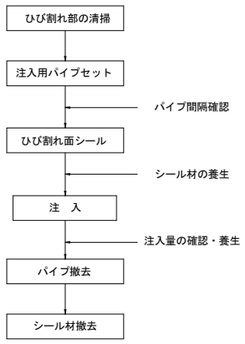
### ひびわれ注入工法



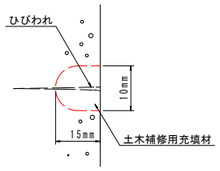

※1. 注入対象となるひびわれ幅は、0.2㎜以上～1.0㎜未満である。

※2. エポキシ樹脂は、建設省総合技術開発プロジェクトに
示されるエポキシ樹脂注入材相当とする。

※3. 対象構造物
頂版・側壁工；エポキシ樹脂3種



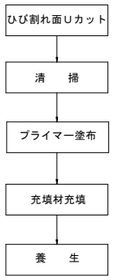

### ひびわれ充填工法




※1. 充填対象となるひびわれ幅は、1.0㎜以上,遊離石灰(ひびわれ閉塞部)

※2. ひびわれ充填材で、シーラント系の場合は
建設省総合技術開発プロジェクトに示される材料相当とする。
ポリマーセメント系を使用する場合は、
NEXCO「構造物施工管理要領」記載「左官工法による断面修復」
の品質規格に適合する充填材とする。

※3. 対象構造物
頂版・側壁工；シーラント系




### ひびわれ注入補修材の要求性能

（この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする）

ひびわれ補修材の性能例　　（試験温度　２０℃）

| 材料の種類 / 項目 | 単位 | 注入材 | | | 充填材 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 土木補修用エポキシ樹脂注入材 | 土木補修用エポキシ樹脂注入材 | 土木補修用エポキシ樹脂注入材 | 土木補修用充填材 | 土木補修用充填材 |
| | | １種 | ２種 | ３種 | ポリマーセメント系 | シーラント系 |
| ひびわれ進行度区分 | | B | | A | B | A，B |
| ひびわれ幅（mm） | | 0.2 ～ 5.0 | | | 5.0< | |
| 粘　度 | ｃｐｓ | 1,000以下 | 4±（注-1） | 1,000以下 | 10,000以下 | だれを認めず |
| 可使時間 | 分 | 30以上 | 30以上 | 30以上 | 30以上 | 240以上 |
| 硬化時間 | 時間 | 16以内 | 16以内 | 24以内 | 16以内 | 24以内 |
| 硬化収縮 | % | 0.1以下 | 0.1以下 | 0.1以下 | 0.1以下 | － |
| 伸　び　率 | % | － | 50以上 | 100以上 | － | 800以上 |
| モルタル付着強さ（乾燥面） | kgf/cm2 | 60以上 | 60以上 | 60以上 | 60以上 | たわみ量10㎜以上で破壊すること |
| 付着力耐久性保持率（注-2） | % | 60以上 | 60以上 | 60以上 | 60以上 | 60以上 |

抜粋　：「旧建設省総合技術開発プロジェクト：土木研究センター」

※注-1　チキソトロピック係数　２ｒｐｍ/２０ｒｐｍの粘度で表す。

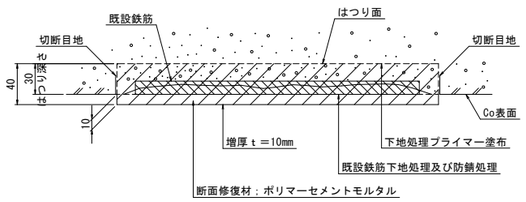
※注-2　規格に対する百分率

## 断面修復工法

### 防錆処理が必要な場合

（腐食かぶり厚0㎜箇所，うき部）

※ 下図は、腐食かぶり厚0㎜の補修要領図を示す
30㎜はつりを行い、修復厚はコンクリート表面から10㎜増厚して計40㎜の修復とする。




※ 断面修復厚（腐食　かぶり厚0㎜箇所）
はつり深さ；かぶり0㎜+鉄筋径12㎜+鉄筋背面20㎜程度＝ 32㎜→ 30㎜
断面修復厚；はつり厚30㎜+増厚10㎜＝40㎜

※ 断面修復厚（うき部）
はつり深さ；かぶり45㎜+鉄筋径16㎜+鉄筋背面20㎜程度＝ 81㎜→ 80㎜
断面修復厚；はつり厚80㎜＝80㎜

※ 腐食、かぶり厚0㎜箇所は、コンクリート品質試験の結果、最大中性化深さが22.1㎜のため
中性化領域の除去を踏まえ、はつり深さは30㎜とする。

※1. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部
に損傷を与えないよう周囲に深さ1～3㎝程度
切断目地を入れ、入念に施工する。

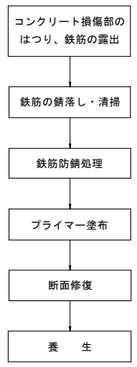
※2. 損傷個所に鉄筋がある場合は、鉄筋の裏側まで
コンクリートをはつり取り、錆の除去・防錆、
コンクリートへのプライマー塗布を行い、入念に
施工すること。

※3. 鉄筋断面が著しく断面減少・破断している場合は添筋すること。

※4. 断面修復後のマクロセル腐食を極力防止するため、
適切な防錆処理を施すこと。

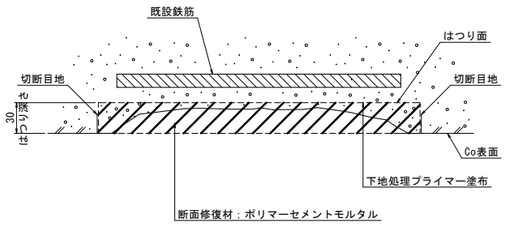
※5. 断面修復材はポリマーセメントモルタルとし
NEXCO「構造物施工管理要領」記載
「左官工法による断面修復」の品質規格に適合する
材料を選定すること。

※6. 圧縮強度は母材強度と同等以上とする。




### 防錆処理が不要な場合

（欠損箇所）




※ 断面修復厚（欠損箇所）
はつり深さ；30㎜想定
断面修復厚；はつり厚30㎜＝30㎜

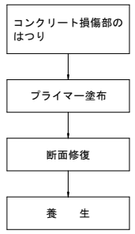
※ 欠損箇所は、コンクリート品質試験の結果、最大中性化深さが22.1㎜のため
中性化領域の除去を踏まえ、はつり深さは30㎜とする。

※1. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部
に損傷を与えないよう周囲に深さ1～3㎝程度
切断目地を入れ、入念に施工する。

※2. コンクリートのはつり深さは上図のとおりと
する。

※3. 断面修復材はポリマーセメントモルタルとし
NEXCO「構造物施工管理要領」記載
「左官工法による断面修復」の品質規格に適合する
材料を選定すること。

※5. 圧縮強度は母材強度と同等以上とする。




### 断面修復材　品質規格

（この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする）

NEXCO「構造物施工管理要領」記載

左官工法による断面修復材（ポリマーセメントモルタル）の性能照査項目

| 要求性能 | 試験項目 | 試験体の履歴条件 | 基準値 |
|---|---|---|---|
| 断面の修復に要する性能 | 硬化時間 | － | 断面修復材の固化時間は1時間以上であること |
| | 断面修復材料の外観（塗装無し） | 温冷繰り返し試験後 | 断面修復材は均一で、われ、はがれ、ふくれのないこと |
| | 硬化収縮性 | － | 硬化収縮率　0.05%以下 |
| | 熱膨張性 | 硬化収縮試験後 | 熱膨張係数　$2.0\times10^{-5}$／℃以下 |
| | コンクリートとの付着性 | 湿潤時 | 付着強度　1.5N/mm2以上 |
| | | 耐アルカリ性試験後 | |
| | | 温冷繰り返し試験後 | |
| | 塗装塗膜との付着性 | 温冷繰り返し試験後 | 付着強度　1.0N/mm2以上 |
| 力学的性能 | 圧縮強度 | － | 母材強度と同等以上であること |

| | |
|---|---|
| 工事年度 | 令和　８年度 |
| 事業名 | 久留米市公共下水道事業 |
| 修繕名 | 合川・南薫校区雨水幹線補修(簡川外) |
| 修繕場所 | 久留米市合川町　外　地内 |
| 図面名称 | 補修標準図 |
| 図面番号 | 17/17　縮尺　図示 |
| 久留米市企業局　下水道整備課 | |